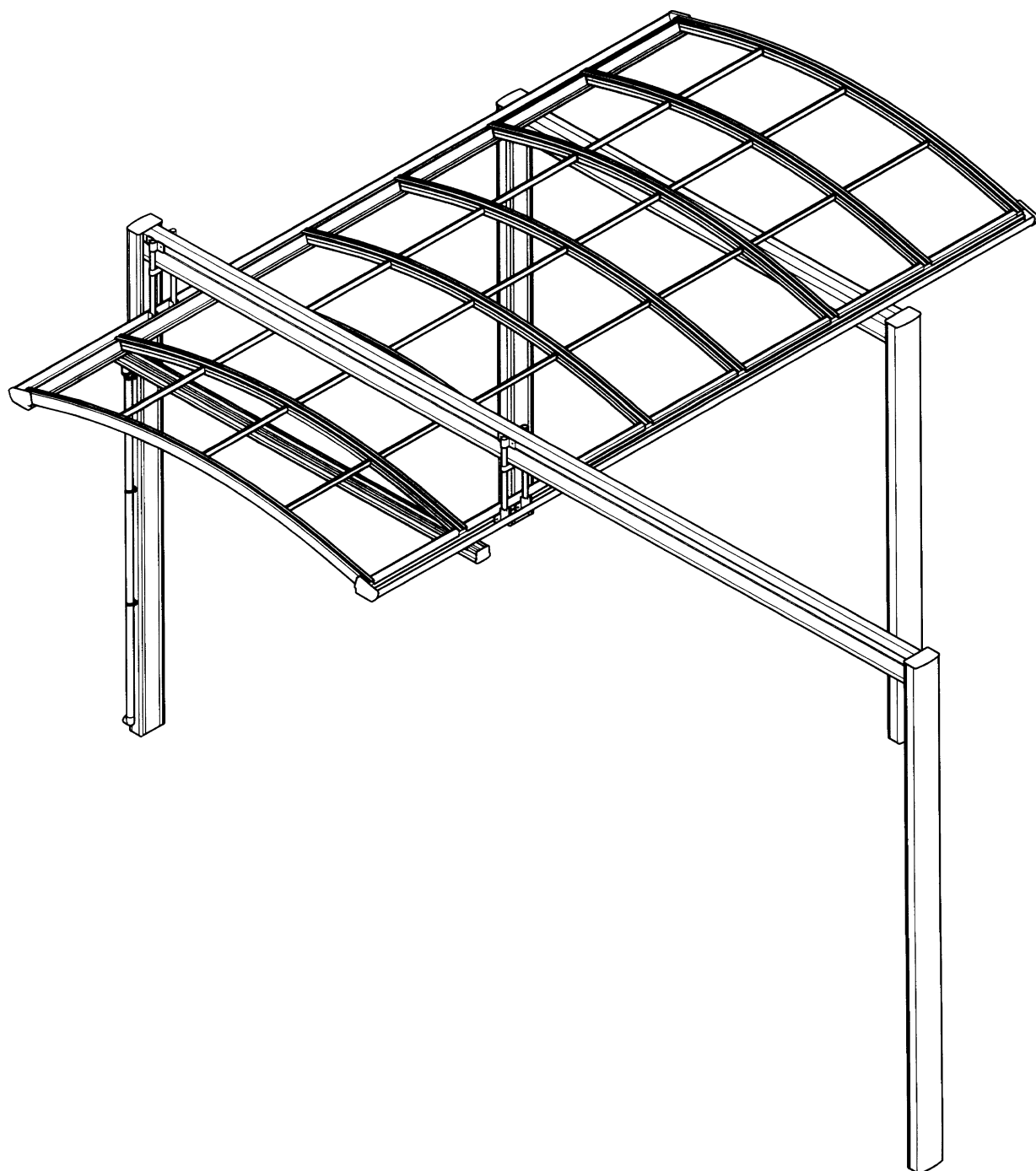




マルチスクエア

組立て・施工説明書



目次

■施工される方へのお願い	1・2
■構造説明図	3
■基本寸法	4
■基礎寸法	4
■フレーム対応角度	5
■取付け順序	6～18
1.柱、はりの取付け	6
2.フレームの建込み	7
3.柱カバーの取付け	8
4.けたの取付け	8～13
5.垂木・側枠の取付け	13
6.棟木・母屋の取付け	14
7.屋根パネルの取付け	15
8.屋根材カバーの取付け	15・16
9.縦どいセットの取付け	17～19
■合掌の取付け	20
■連棟の取付け	21
■その他の取付け	21
■参考納まり図	22～25

施工される方へのお願い

■施工される方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

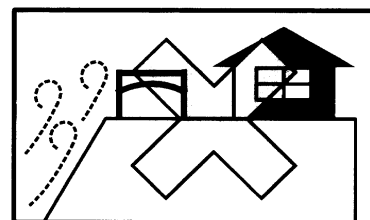
▲ 注 意

※製品の破壊及び落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工上の注意

●設置条件

- ・母屋の屋根から直接雪が当たらない場所に設置してください。
- ・本製品は一般地域向け商品で積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は地上階に取付ける設計になっております。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



●施工について

- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・フレームが60以上の場合は、重量が重くなりますので必要作業人数の確保、又はユニック車を使用してください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根、母屋への取付けなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・当社指定の屋根パネルを使用してください。
- ・屋根パネルの取付けは垂木・パネル押えへののみ込みが左右均等になるようにしてください。さもないとパネルが強風により飛散するおそれがあります。

●部材の固定

- ・組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。
又使用中緩まないように締付けてください。
- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

▲ 注 意

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・施工前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにしてください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・柱には水抜きができるように柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ形材が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・シリコンシーリングを行う場合、ポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

○信越化学工業	シーラント72
○東芝シリコーン	トスシール380
○東レシリコーン	SE960

構造説明図

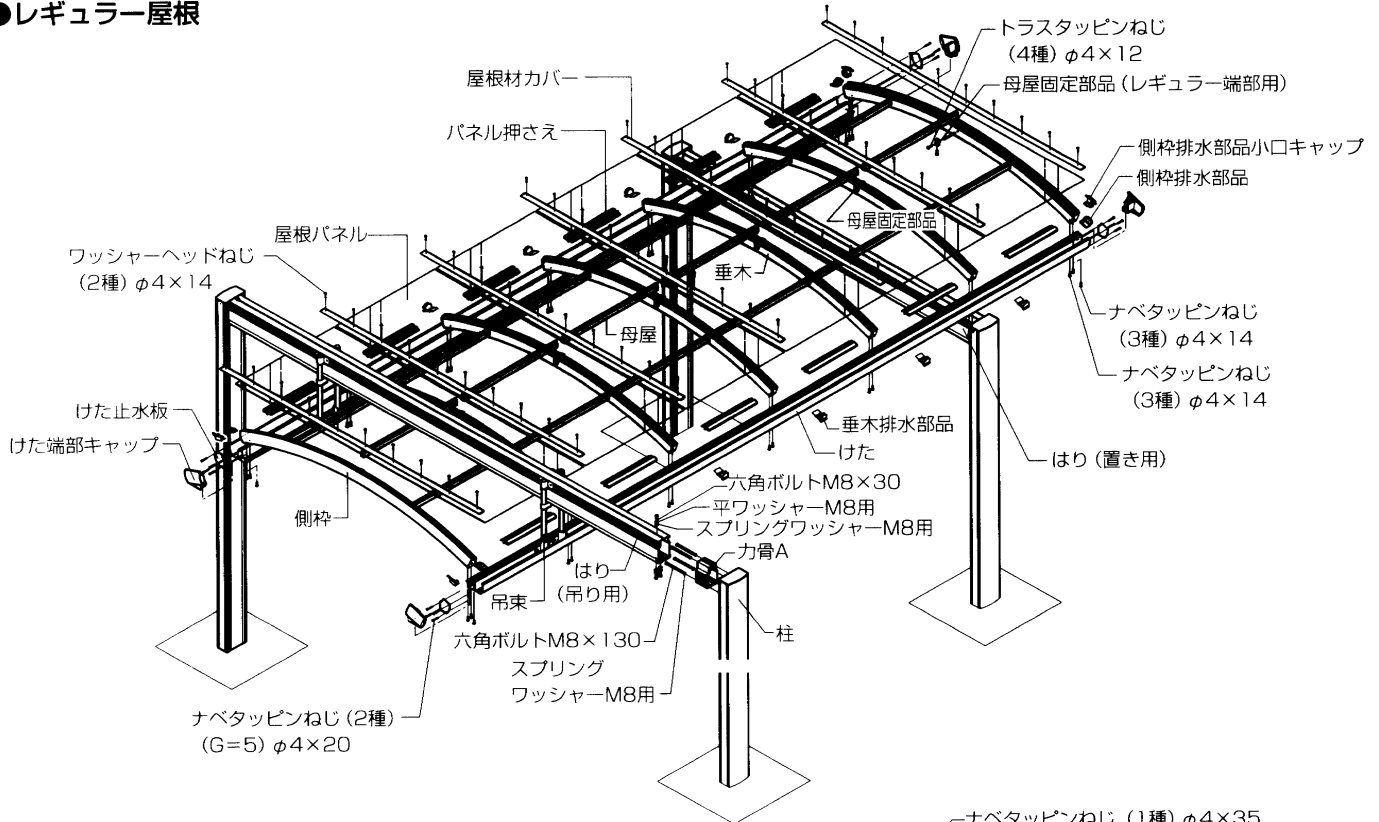
●本体以外の取付け説明書は下記セットに同梱されています。

パーゴラ棧：パーゴラ棧組立て部品セット
 マルチスクリーン接続：間柱固定部品セット
 ：間柱キャップセット
 フレーム飾り：パターンデザインセット

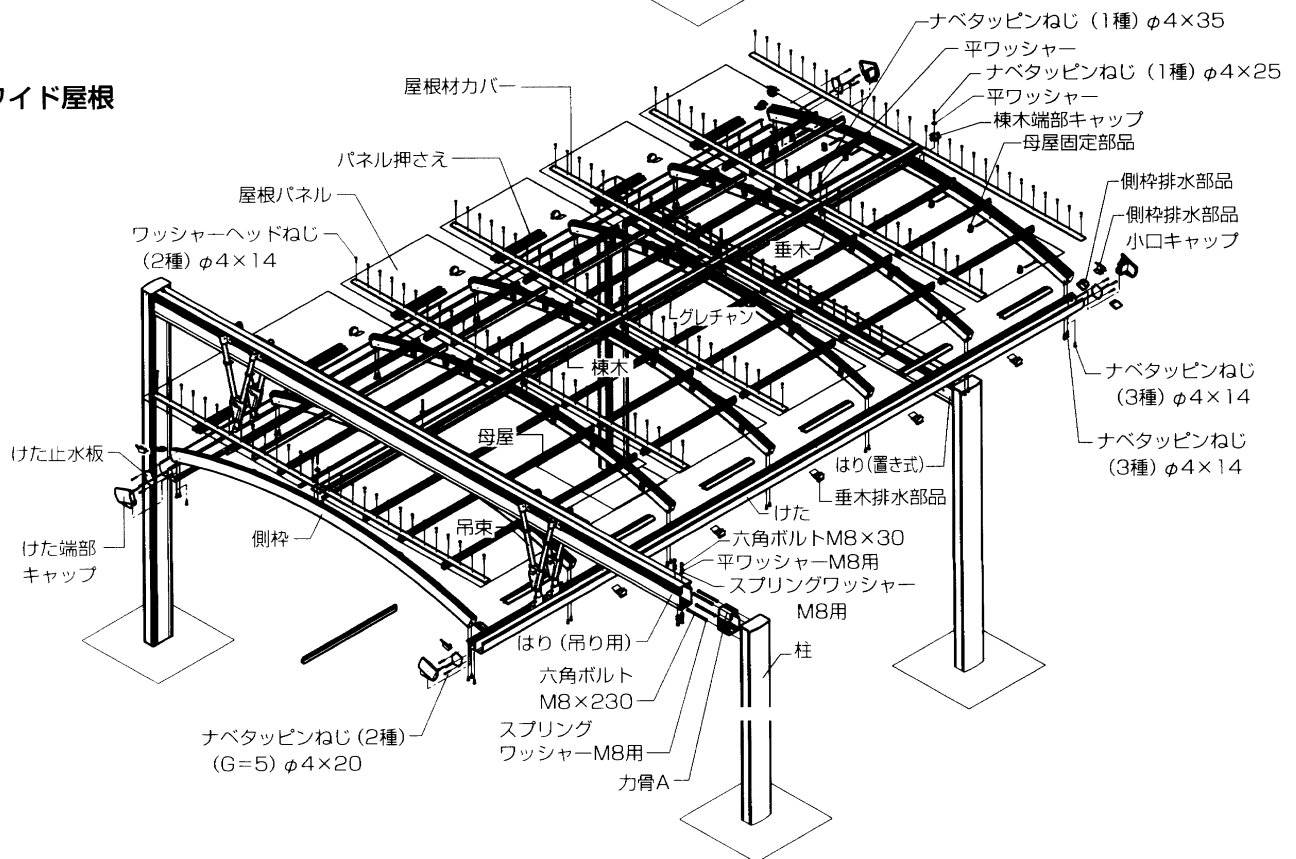
サイドスクリーン：サイドスクリーン部品セット
 サイドクリーン：スクリーン部品セット
 柱化粧材：柱化粧材セット
 エンブレム：エンブレムセット
 オーナメント：オーナメント取付部品セット

■構造説明図

●レギュラー屋根

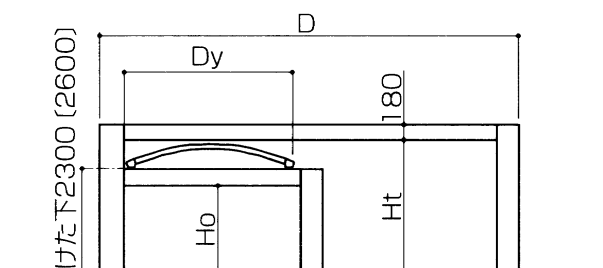


●ワイド屋根



基本寸法、基礎寸法

■基本寸法



フレーム	幅 : D
27置	3023
30置	3323
33置	3623
36置	3923
42置・吊	4598
45置・吊	4898
48置・吊	5318
54置・吊	5918
60置・吊	6548
70置・吊	7488
80置・吊	8418

屋根	幅 : Dy
レギュラー	24 2473
	27 2773
	30 3073
ワイド	54 5397
	60 5997

[] = H26

有効高さ			
Ho	Ht	フレーム呼称	
		42/45/48	54/60/70/80
共通 2110 [2410]	24	2685	
	27	[2985]	
	30		
	54	—	2828 [3128]
	60	—	2910 [3210]

※1 : 屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。

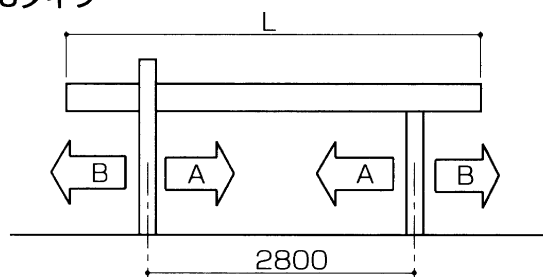
※2 : 柱芯々寸法は3800mm以内にしてください。

※3 : 柱移動範囲は500mm以内にしてください。

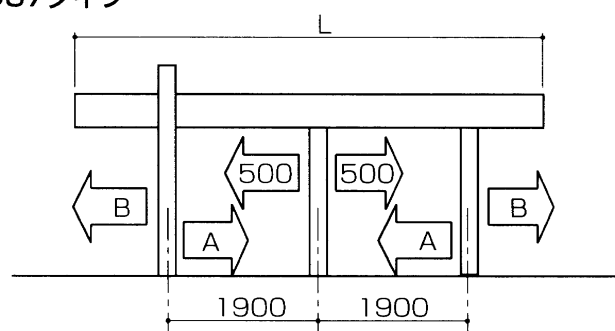
※4 : 「延長」の柱移動範囲は延長部の柱の移動範囲を示します。

※5 : 60フレーム以上の場合、はりをスリーブで連結します。

●50タイプ



●57タイプ



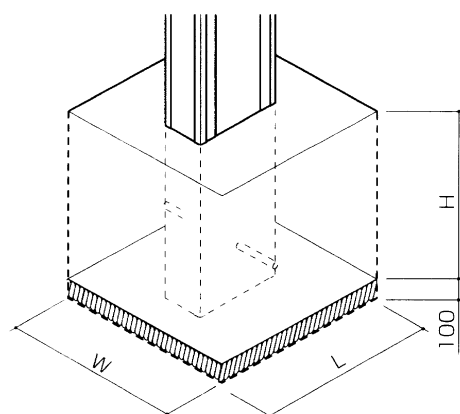
■レギュラー (24、27、30屋根)

呼称	L	A	B
標準	50	5010	145
	57	5716	292
延長	50+14	6422	500

■ワイド (54、60屋根)

呼称	L	A	B
標準	50	5022	139
	57	5728	286
連棟	50+50	9964	139
	57+57	11376	286
延長	50+14	6434	500
	57+14	7140	500

■基礎寸法



▲注意

- 地下埋設物 (給水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
- コンクリート (又はモルタル) に急結材は使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので水洗いした物をご使用ください。

●50タイプ

フレーム呼称	W	L	H
27~48	500	500	500
54	700	750	500
60~80	800	750	500

※57タイプ 共通 : 500×500×500

フレーム対応角度図

■フレーム対応角度図

※屋根・フレームサイズが同サイズの場合、回転移動はできません。又、屋根外面から柱面の距離はLとします。

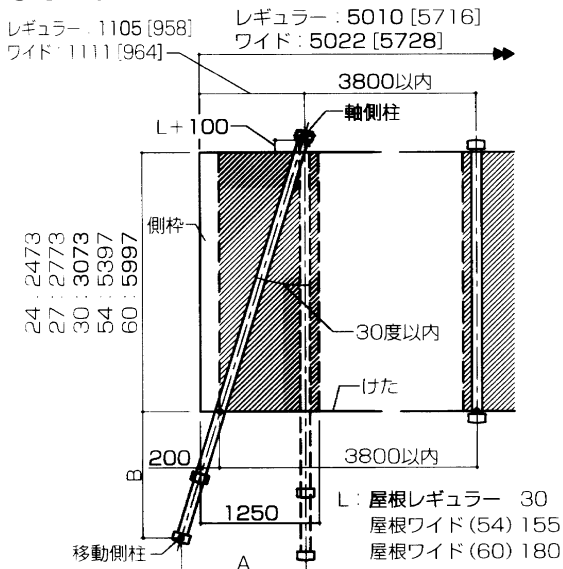
※  は置き式フレームのみのサイズ設定とします。

●外側への移動

①側枠外面から、けた外面とはり芯々との交点(◆)までが200mm以上

②◆から次の◆までが3800mm以内

③角度調整角度30°以内

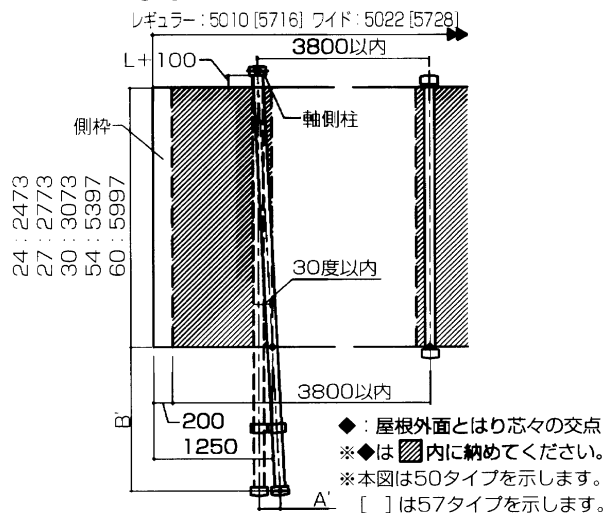


●内側への移動

①側枠外面から◆までが1250mm以内

②◆から次の◆までが3800mm以内

③角度調整角度30°以内



※上図は軸側柱を基準位置とした場合の移動側柱の位置(最大移動時)を示します。

A、A' : 基準位置から移動側柱(最大移動時)の寸法

B、B' : けた外面から移動側柱(最大移動時)の寸法

●柱位置一覧(単体)

屋根		フレーム	27	30	33	36	42	45	48	54	60	70	80
奥行き50	24	A	905	998	1090	1183	1291	1484	1614	1799	1994	2285	2572
		B	134	420	705	990	1632	1918	2317	2888	3487	4381	5265
		A'	153	169	185	200	236	251	273	305	338	387	436
		B'	274	573	873	1172	1846	2146	2565	3165	3794	4733	5661
	27	A	0	944	1031	1119	1317	1404	1527	1702	1887	2162	2433
		B	78	137	423	710	1356	1643	2044	2618	3221	4120	5009
		A'	0	113	123	134	157	168	182	203	225	258	290
		B'	78	276	575	875	1550	1850	2269	2869	3499	4438	5368
	30	A	-	0	913	991	1165	1243	1352	1507	1670	1913	2154
		B	-	78	157	447	1099	1389	1795	2374	2983	3891	4789
		A'	-	0	123	134	157	168	182	203	225	258	290
		B'	-	78	275	575	1250	1550	1969	2569	3199	4138	5068
	54	A	-	-	-	-	-	-	-	0	1009	1156	1302
		B	-	-	-	-	-	-	-	224	674	1603	2521
		A'	-	-	-	-	-	-	-	0	113	129	145
		B'	-	-	-	-	-	-	-	224	753	1693	2622
	60	A	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1029	1158
		B	-	-	-	-	-	-	-	-	229	997	1918
		A'	-	-	-	-	-	-	-	-	0	129	145
		B'	-	-	-	-	-	-	-	-	229	1068	1997
奥行き57	24	A	758	835	913	991	1165	1243	1352	1507	1670	1913	2154
		B	178	468	757	1047	1699	1989	2395	2974	3583	4491	5389
		A'	306	337	369	400	471	502	546	609	675	773	870
		B'	262	560	858	1157	1828	2126	2544	3141	3767	4702	5627
	27	A	0	781	853	926	1089	1162	1264	1409	1561	1789	2014
		B	78	182	473	764	1419	1710	2117	2700	3311	4223	5125
		A'	0	281	307	334	392	419	455	508	562	644	725
		B'	78	265	564	863	1536	1834	2253	2850	3478	4415	5341
	30	A	-	0	794	861	1013	1080	1175	1310	1452	1663	1872
		B	-	78	187	480	1137	1430	1839	2423	3037	3953	4859
		A'	-	0	307	334	392	419	455	508	562	644	725
		B'	-	78	264	563	1236	1534	1953	2550	3178	4115	5041
	54	A	-	-	-	-	-	-	-	0	786	901	1014
		B	-	-	-	-	-	-	-	224	706	1639	2562
		A'	-	-	-	-	-	-	-	0	225	258	290
		B'	-	-	-	-	-	-	-	224	750	1689	2619
	60	A	-	-	-	-	-	-	-	-	0	773	870
		B	-	-	-	-	-	-	-	-	229	1028	1953
		A'	-	-	-	-	-	-	-	-	0	258	290
		B'	-	-	-	-	-	-	-	-	229	1064	1994

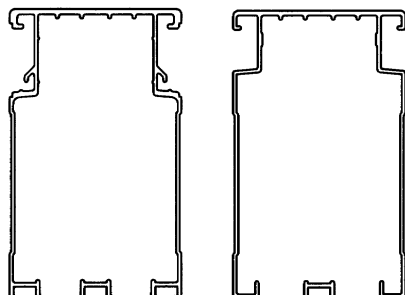
取付け順序

■取付け順序

1 柱、はりの取付け

※柱、はりは重量が重いので組立ての際、キズが付かないようにしてください。

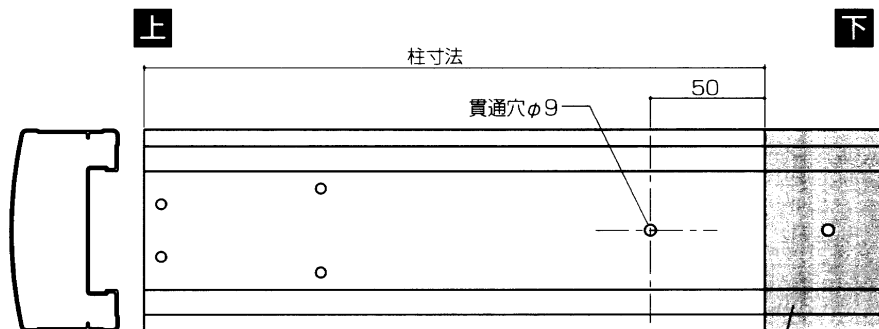
※はりには吊り用と置き用があります。



(吊り用はり)

(置き用はり)

●柱現場加工図



●54以上のフレームにレギュラー屋根を取付ける場合

柱寸法=3365

●54屋根を取付ける場合

柱寸法=3508

※柱は屋根とフレームの組合わせにより現場切断が発生します。

※置き式用柱の切断はありません。

①柱に力骨Bを挿入して力骨Aと固定してください。

②はり側面の溝に裏板、下面両端のボルトホールにM8ボルトを下記を参考に挿入してください。

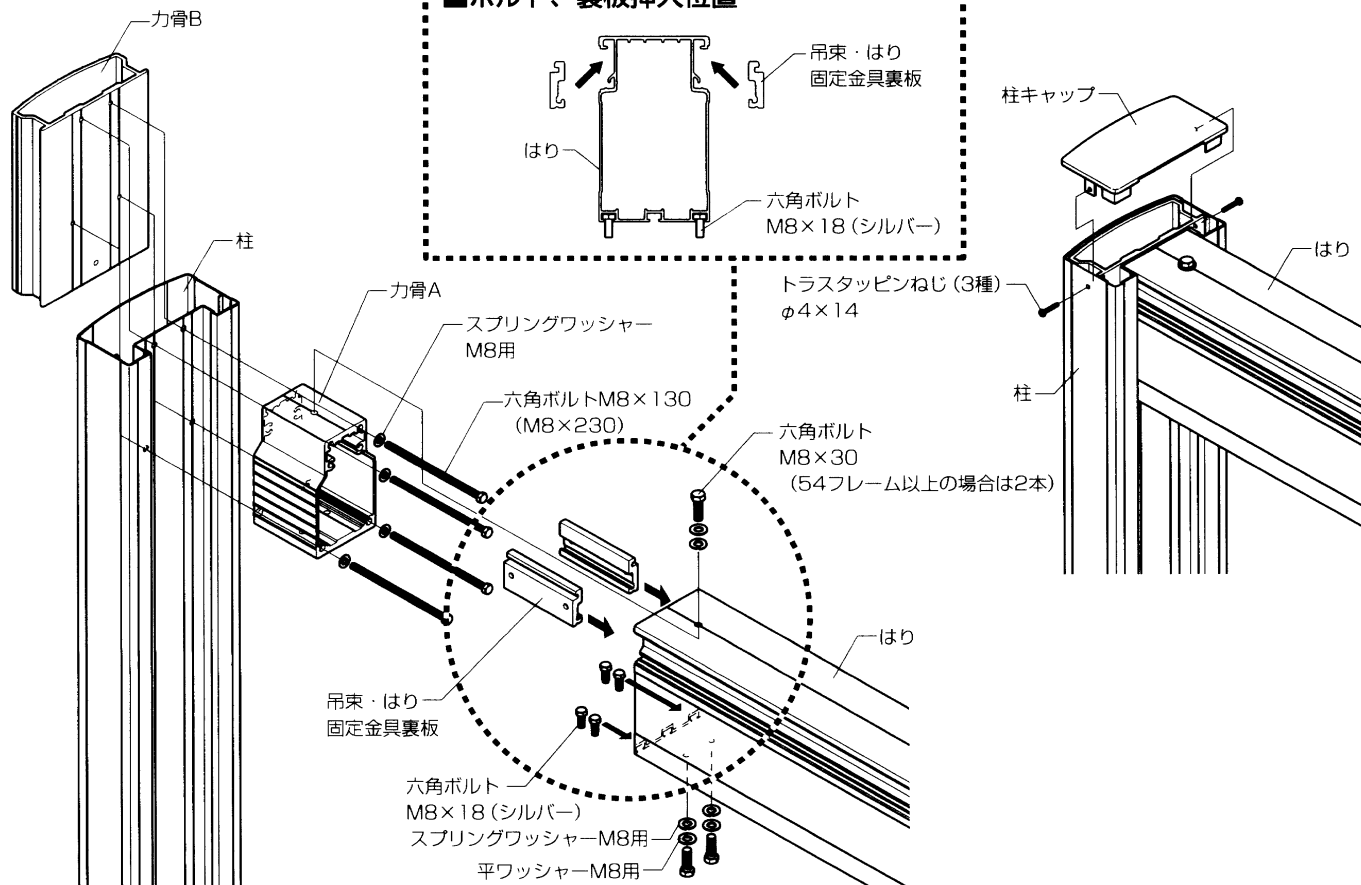
・レギュラー屋根：裏板4個、M8ボルト8本

・ワイド屋根：裏板8個、M8ボルト16本

③はりと力骨Aを固定してください。

④柱キャップを取付けてください。

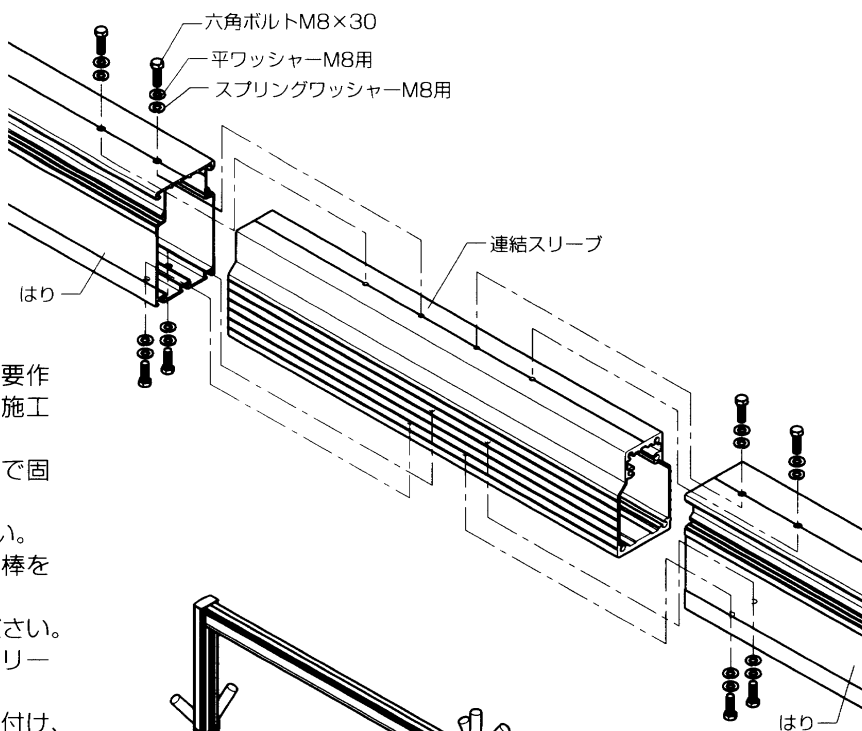
■ボルト、裏板挿入位置



() : 54フレーム以上を示します。

●分割はり (60、70、80フレーム) の場合

- ①連結スリーブにてはりを接続してください。
- ②はりとか骨 A を固定してください。

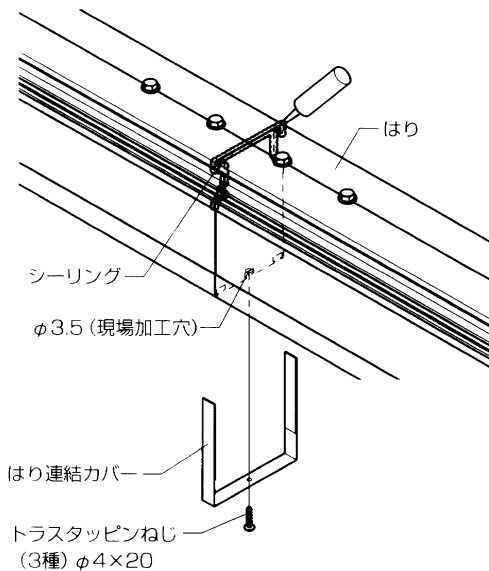
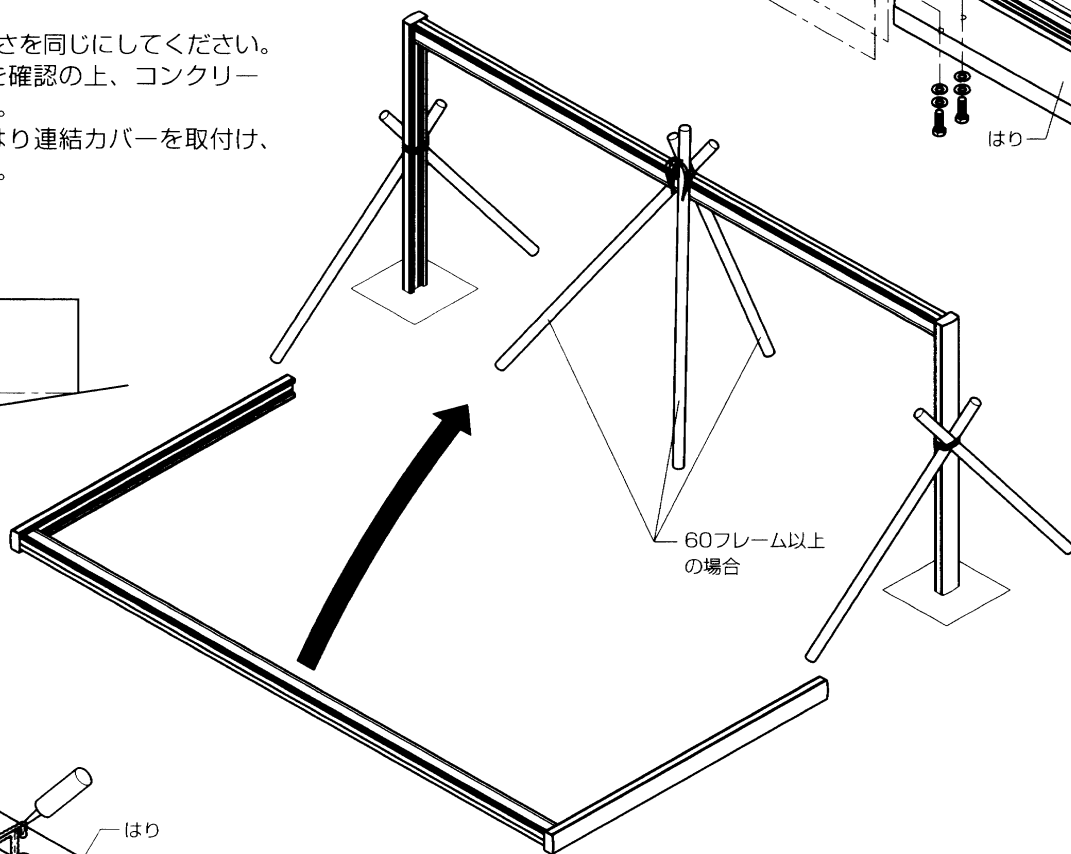


② フレームの建込み

※フレームは重量が重いので建込みの際は必要作業人数の確保、又はユニック車を使用し、施工には注意してください。

- ①基礎穴に柱を挿込み倒れないように支え棒で固定し、自立させてください。
※柱に張ってあるGLシールに合わせてください。
※60フレーム以上の場合にははり中央にも支え棒を固定してください。
※基準となる位置から柱長さを同じにしてください。
- ②フレームの水平、垂直を確認の上、コンクリートを流し込んでください。
- ③はりとはりの接合部にはり連結力バーを取付け、シーリングしてください。

●柱の長さ



⚠ 注意

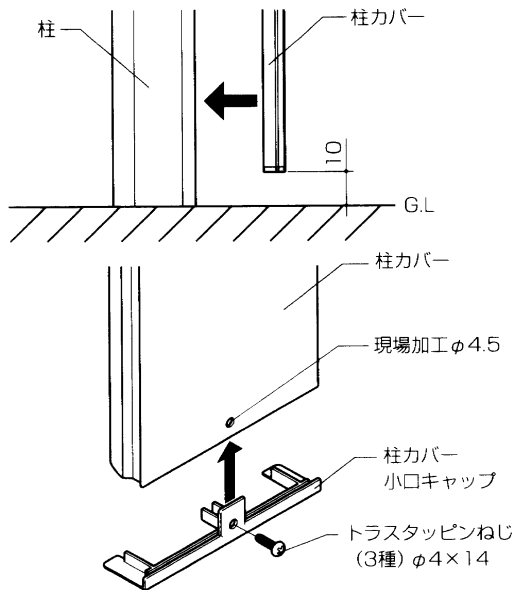
●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・東レシリコーン SE960

3 柱カバーの取付け

- ①現場に合わせて柱カバーを切断して柱カバー小口キャップ取付け穴をあけてください。
- ②柱カバー小口キャップを取付けてください。
- ③柱に柱カバー取付け穴をあけてはめ込んでください。

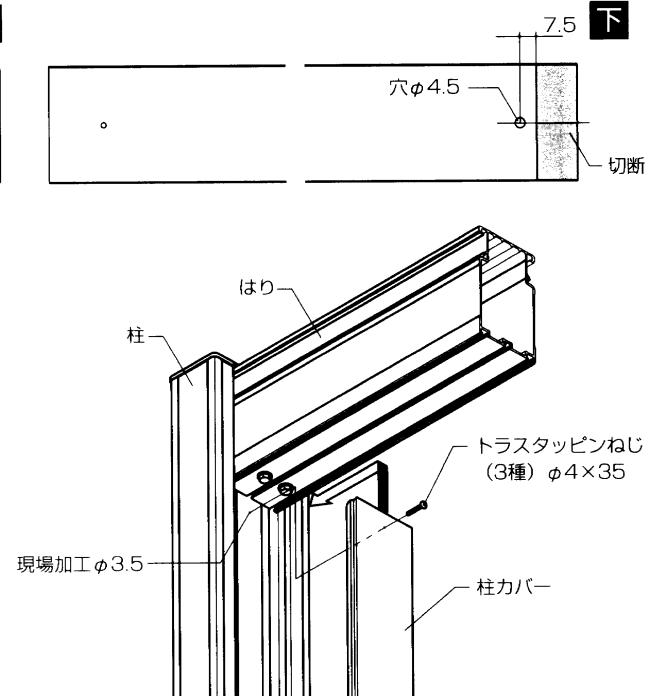
●柱カバー柱現場加工図



上



下



4 けたの取付け

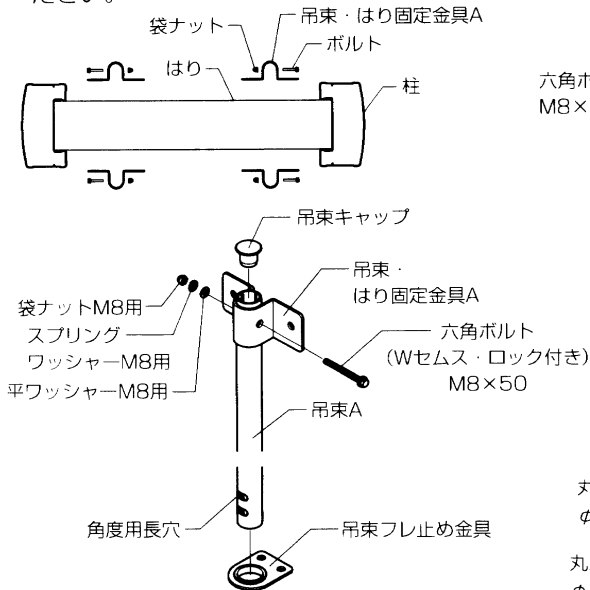
※置き式フレームにけたをのせて吊り式はりにけたを吊込んでください。その際けたにキズが付かないようにしてください。

●けたの取付け (吊側)

- ①図に従い吊部品を組立てます。
- ※吊部品は六角ボルトのロック付きで組んだものと無いものとで一組になります。
- ※部品はシャイングレー、ねじはシルバーを使用してください。
- ※吊束・はり固定金具は上下の刻印に合わせて取付けてください。

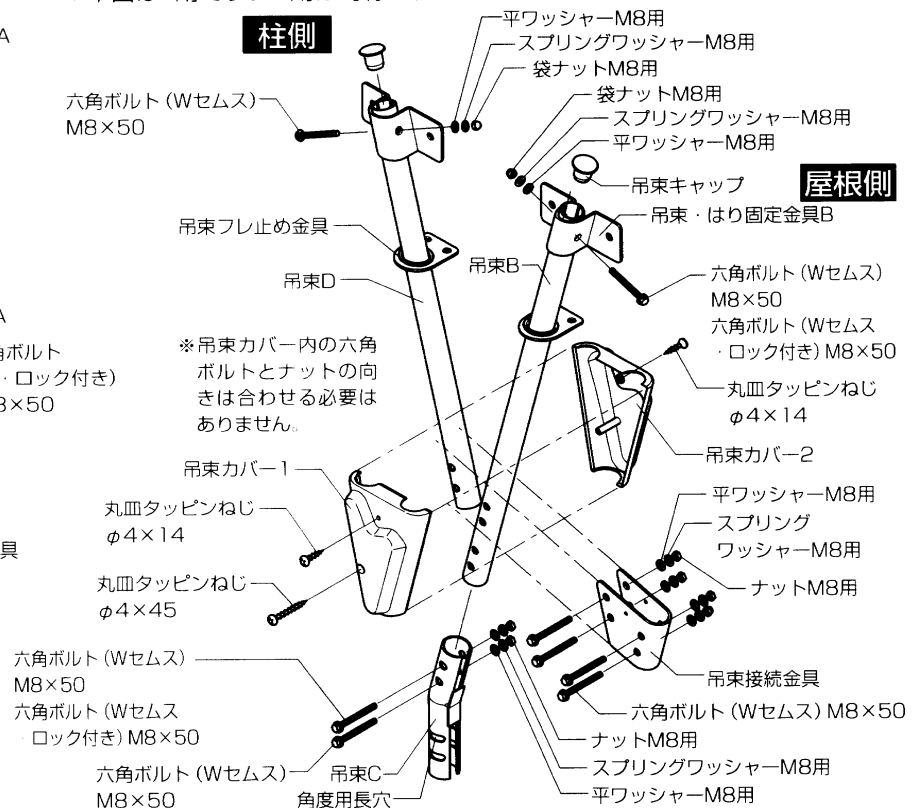
〈レギュラー屋根の場合〉

- ボルトの向きを下图になるよう組立ててください。

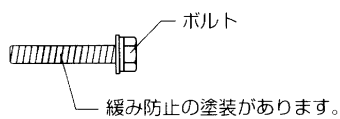


〈ワイド屋根の場合〉

※本図はL用です。R用は対称に組立ててください。

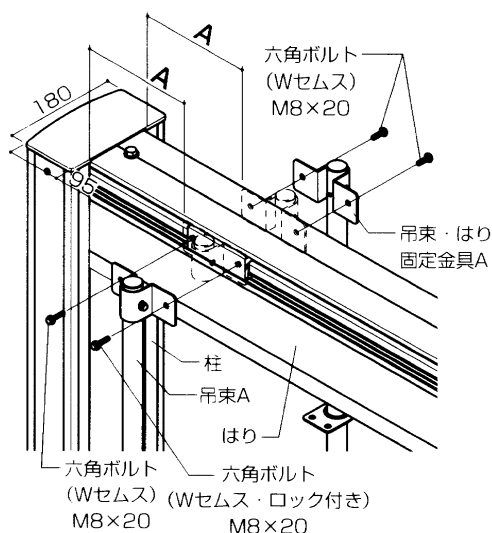


【ロック付きについて】



②吊束位置Aを決め、はり側面に挿入した吊束・はり固定金具裏板に吊束・はり固定金具を固定します。はり下面に挿入したボルトに、吊束フレ止め金具を固定します。

〈レギュラー屋根の場合〉

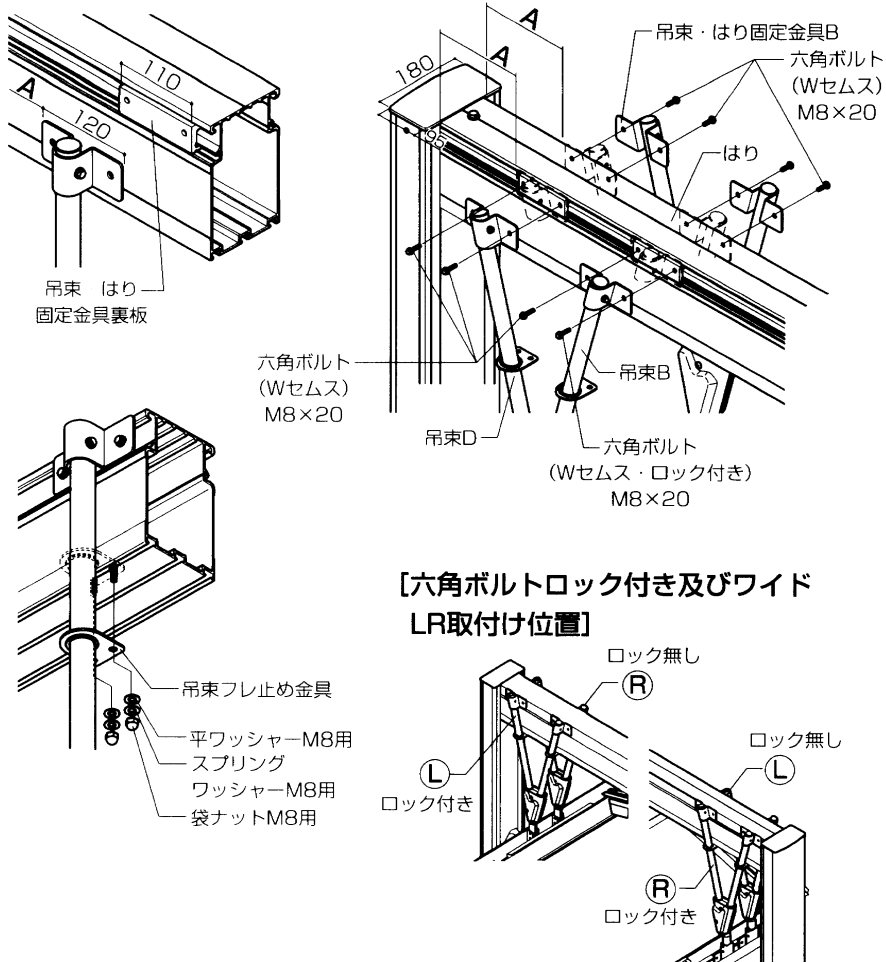


■吊束位置A (参考基準位置)

屋根	フレーム	A (mm)
24	27	176
27	27	26
30	30	26
54	54	34
60	60	27

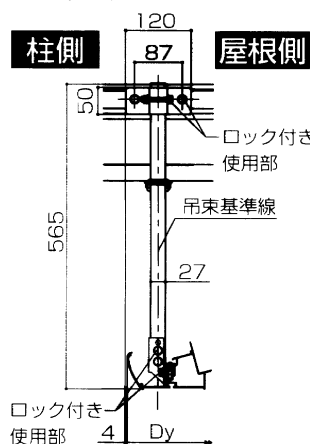
※他の屋根・フレームの組合わせの時は、『基本寸法 (P.4)』及び部品納まり一覧を参考に算出してください。

〈ワイド屋根の場合〉

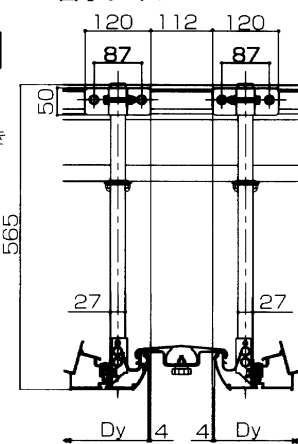


〈吊部納まり一覧〉

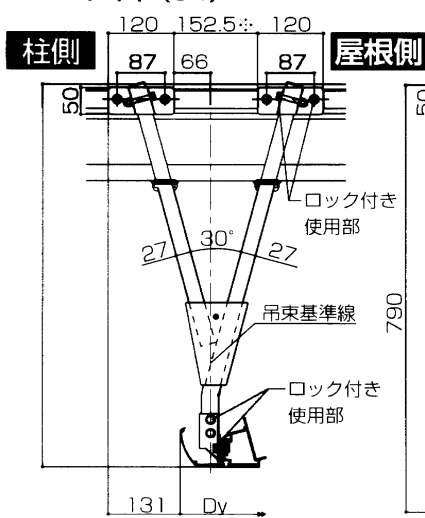
・レギュラー



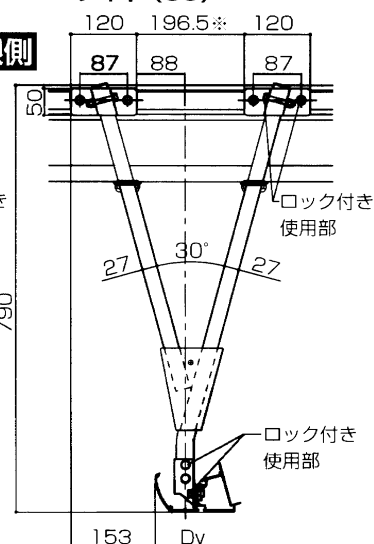
・合掌タイプ



・ワイド (54)



・ワイド (60)

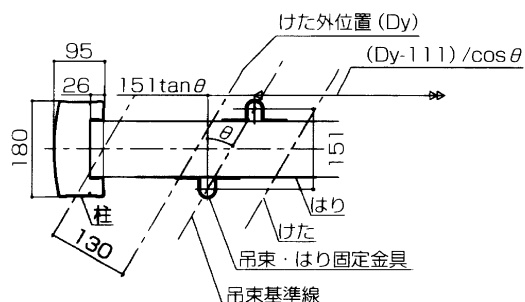


※の寸法は必ず守ってください。

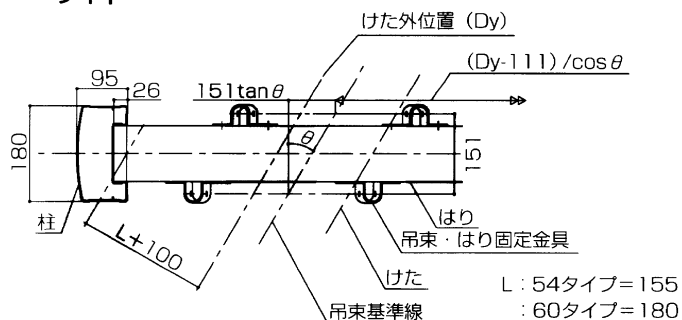
●フレーム角度付の時

・『フレーム対応角度図 (P.5)』を参考に屋根位置を決めてください。はりの前後で吊束・はり固定金具の位置が変わります。下図を参考に位置を算出し、ずらして取付けてください。

・レギュラー



・ワイド



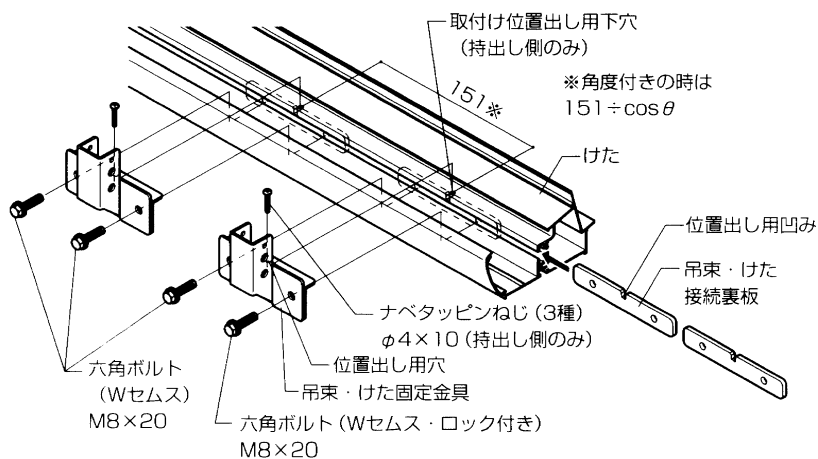
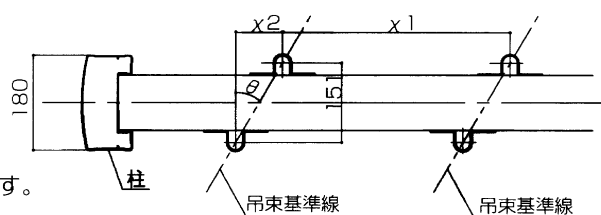
計算例) ①屋根 (24) に $\theta = 30^\circ$ の角度を付けた時の吊束基準線を $x1$ を計算します。「基本寸法」より屋根 (24) の幅 $Dy=2473$ を計算式に数値を入れ計算します。

$$\begin{aligned} x1 &= (Dy - 111) \cos 30^\circ \\ &= (2473 - 111) / 0.866 \\ &= 2727.4 \end{aligned}$$

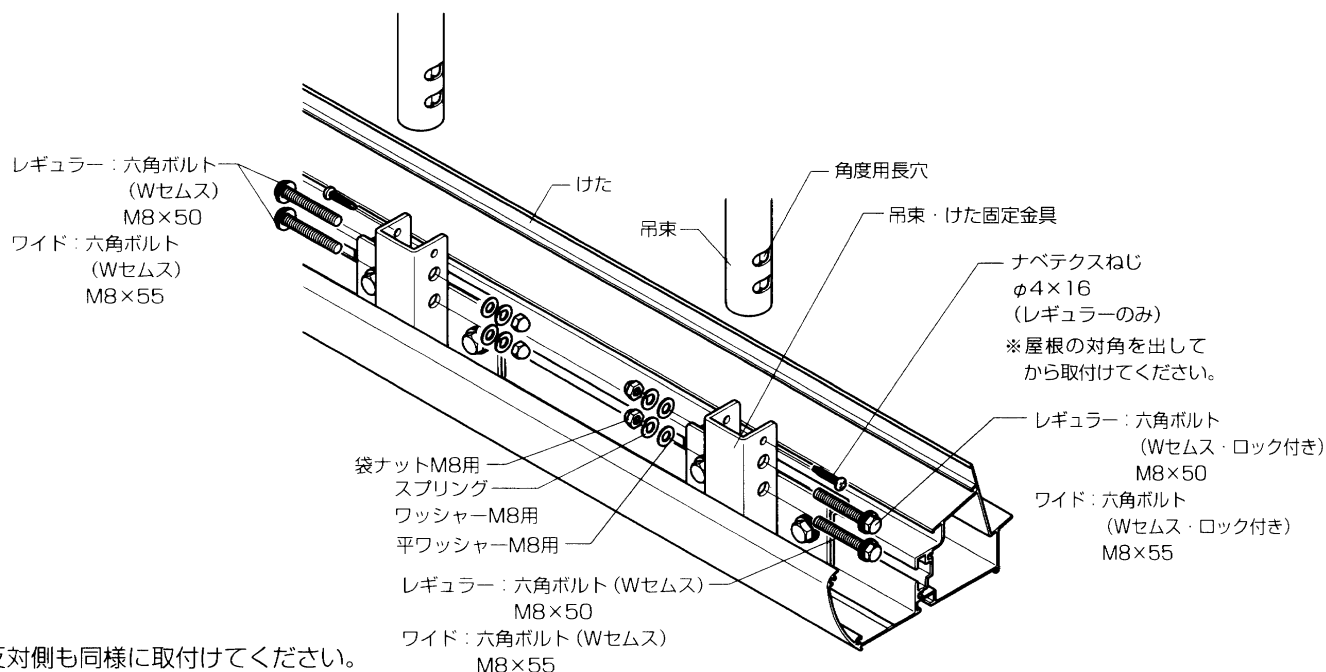
②吊束・はり固定金具の表裏のずらす距離 $x2$ を計算します。計算式に数値を入れ計算します。

$$\begin{aligned} x2 &= 151 \times \tan 30^\circ \\ &= 151 \times 0.577 \\ &= 87.2 \end{aligned}$$

③けたに吊束・けた接続裏板を挿入し、吊束・けた固定金具を固定します。



④吊束と吊束・はり固定金具を固定します。



⑤反対側も同様に取付けてください。

●置き式はりへの取付け

①けたのボルトホールにボルトを挿入してください。

50タイプ：2本 57タイプ：4本

②置き式けた固定金具をけたに仮止めしてください。

③けたと置き式はりの間に置き式はり接続スペーサーを挟んでください。

④屋根を組立て対角を出した後に置き式けた固定金具を置き式はりに固定してください。

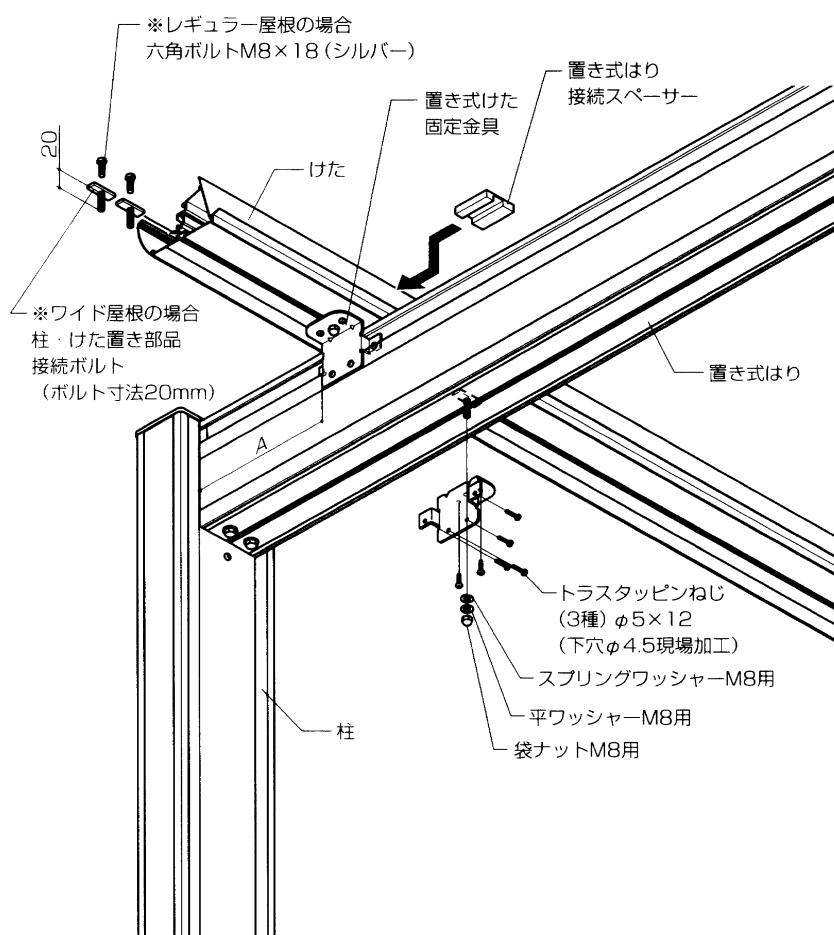
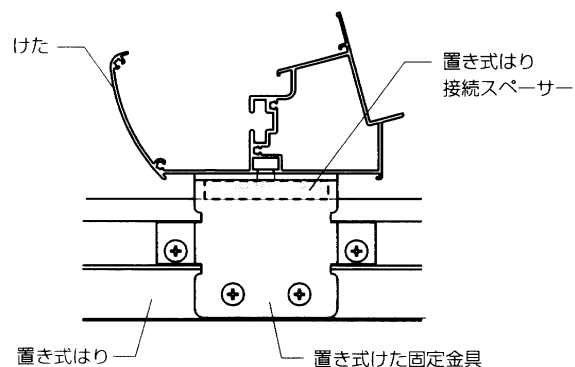
※けた・はりへの取付けねじは置き式けた固定金具に合わせてφ4.5の下穴をあけて取付けてください。

※雨どい部のねじはシーリングをしてください。

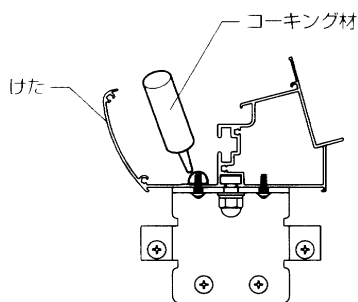
⑤けた下のボルトを本締めして固定してください。

※けたの持出し寸法は『フレーム対応角度図 (P5) 』を参考にしてください。

⑥けた下面の穴が見える場合は穴ふさぎシールを張ってください。



■ねじ部シーリング箇所



▲ 注意

●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

■置き式けた固定金具位置A (参考基準位置)

屋根	フレーム	A (mm)
24	27	225
27	27	75
30	30	75
54	54	212
60	60	227

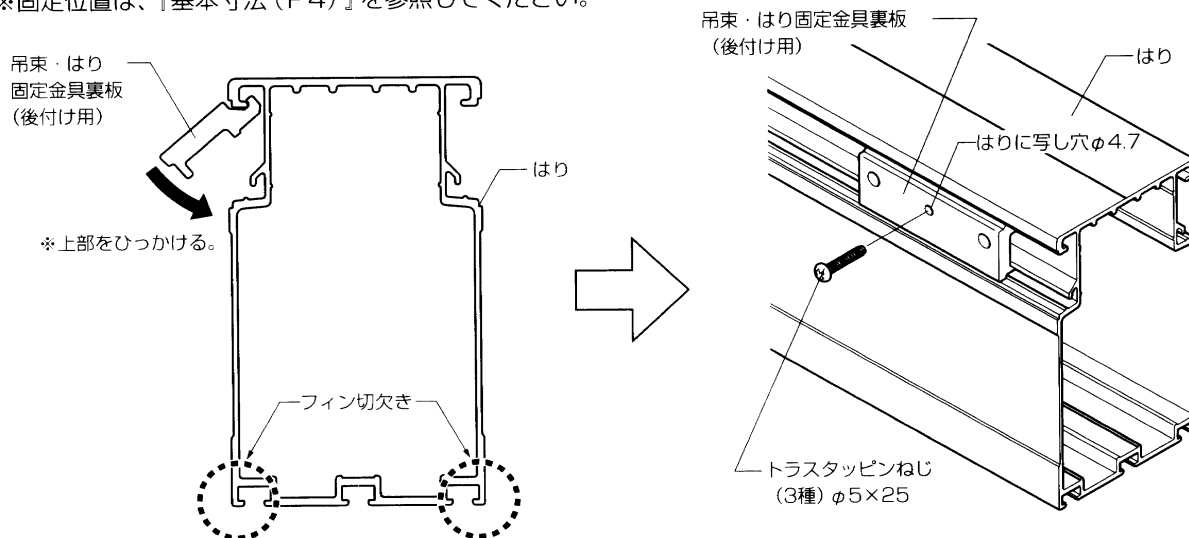
●けたの取付け(吊側・後付けの場合)

①吊束・はり固定金具裏板(後付け用)をねじで固定します。

※他の手順は、通常と同様に行ってください。

※はり下面両端のボルトホールに六角ボルトM8×18を挿入するときは、フィン切欠きをしてください。

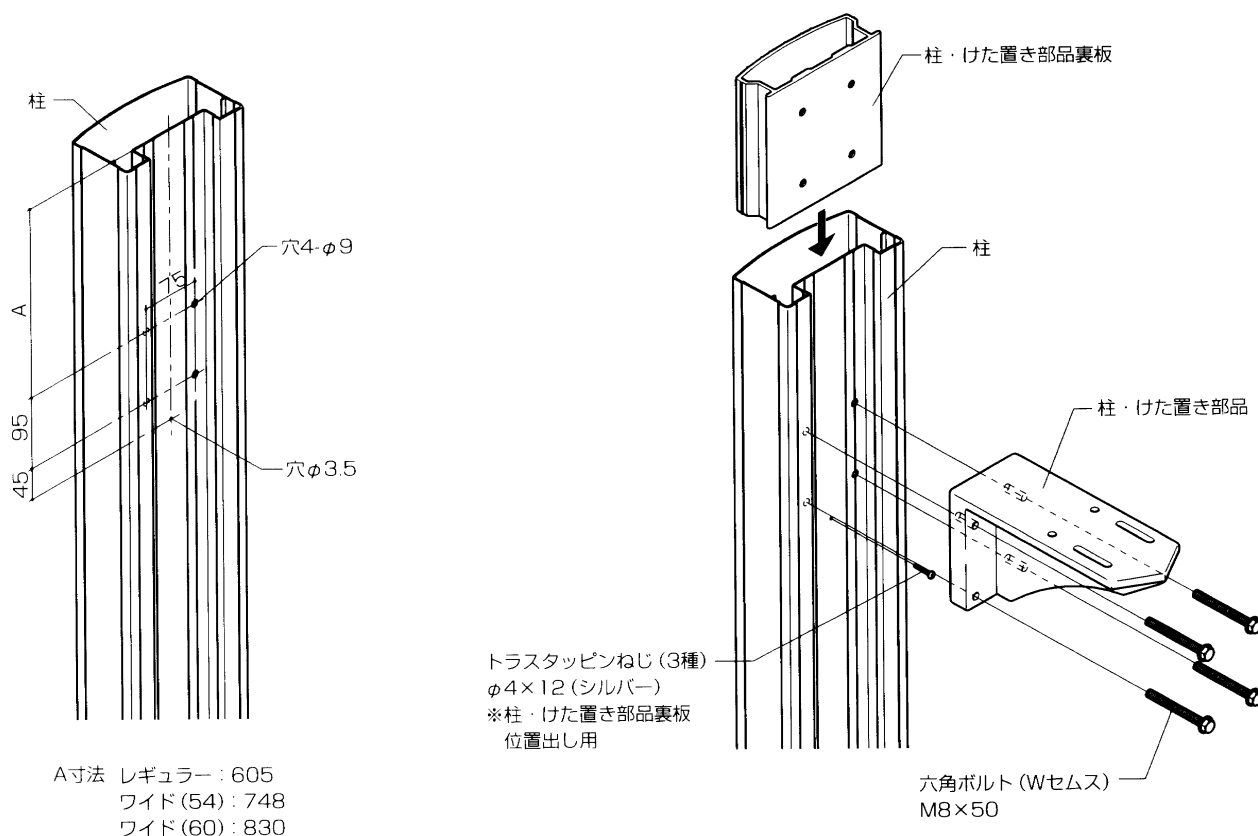
※固定位置は、『基本寸法(P4)』を参照してください。



●柱付けブラケットの取付け

①柱に加工します。

②柱・けた置き部品裏板を柱に挿入し、柱・けた置き部品を固定します。



③通常の取付け順序(P6～)にそって、『柱・はりの取付け』『フレームの建込み』をします。

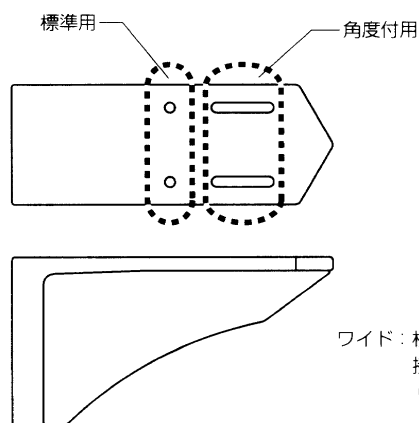
④柱・けた置き部品にけたを固定します。

※他の手順は通常と同様に行ってください。

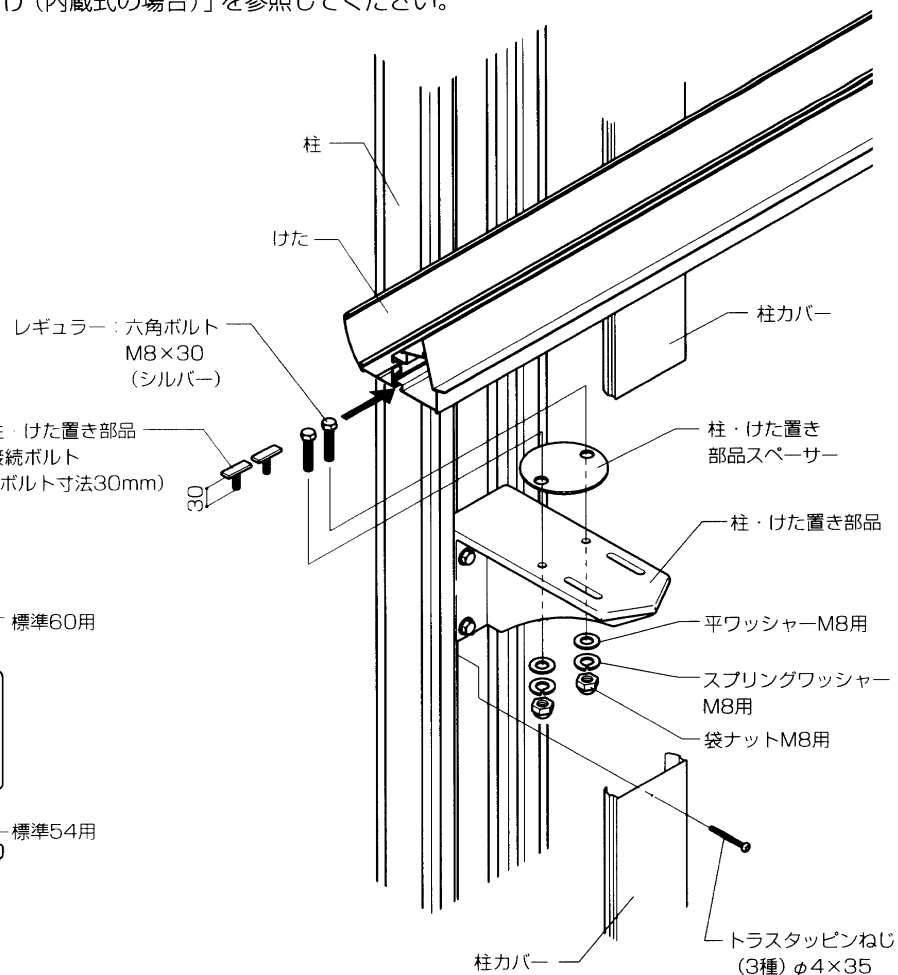
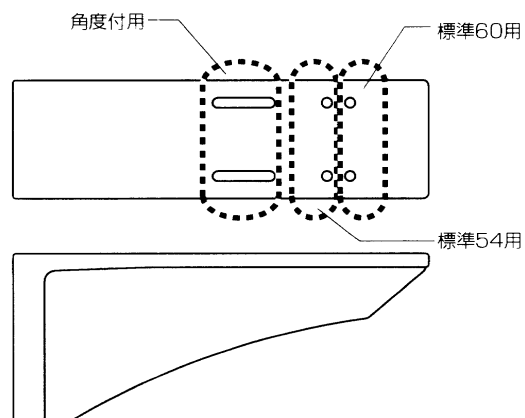
※フレーム角度付きのときは、けたの取付け(吊側)を参照してください。

※柱カバーの取付けは「縦どいセットの取付け(内蔵式の場合)」を参照してください。

〈レギュラーの場合〉



〈ワイドの場合〉

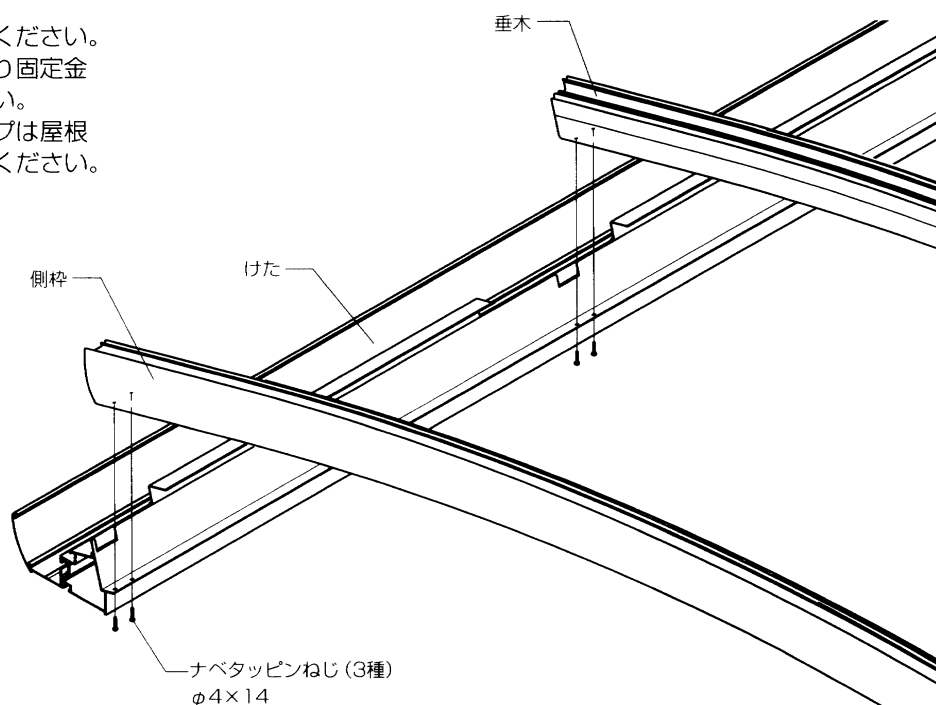


5 垂木・側枠の取付け

①側枠、垂木をけたに取付けてください。

※取付けづらい場合は吊束・はり固定金具を緩めて調整をしてください。

※けた止水板、けた端部キャップは屋根材カバー取付け後に取付けてください。



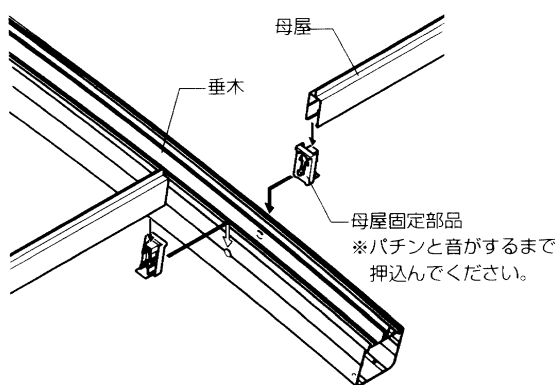
6 棟木・母屋・の取付け

※レギュラー屋根には棟木が取付きません。

- ①棟木に棟木端部キャップを取付けます。
 - ②側枠・垂木の切欠き部に落とし込み固定してください。
 - ③垂木・側枠に母屋固定部品を取付け、母屋を上から落とし込んで取付けてください。
- ※母屋固定部品は一度はめ込むととれません。無理に取ると破損しますので注意してください。
- ④屋根の対角が出ているか確認してください。
- ※屋根の対角が出ていない場合は吊束・けた固定金具のボルトを緩めて調整をしてください。
- ⑤吊束・置き式けた固定金具をねじ止めしてください。(P.11)

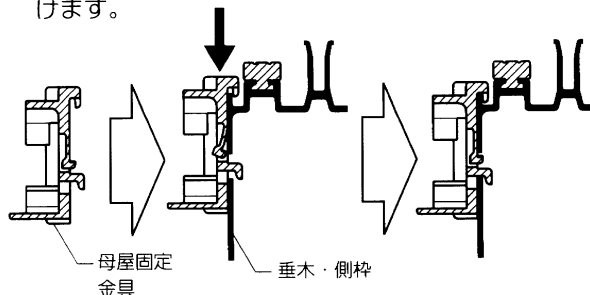
●レギュラー屋根の場合

- ①側枠と一本目の垂木の側枠側に現場加工をして母屋固定部品（レギュラー端部用）をねじ止めしてください。
- ※中間のスペンは母屋固定部品で母屋を取付けてください。



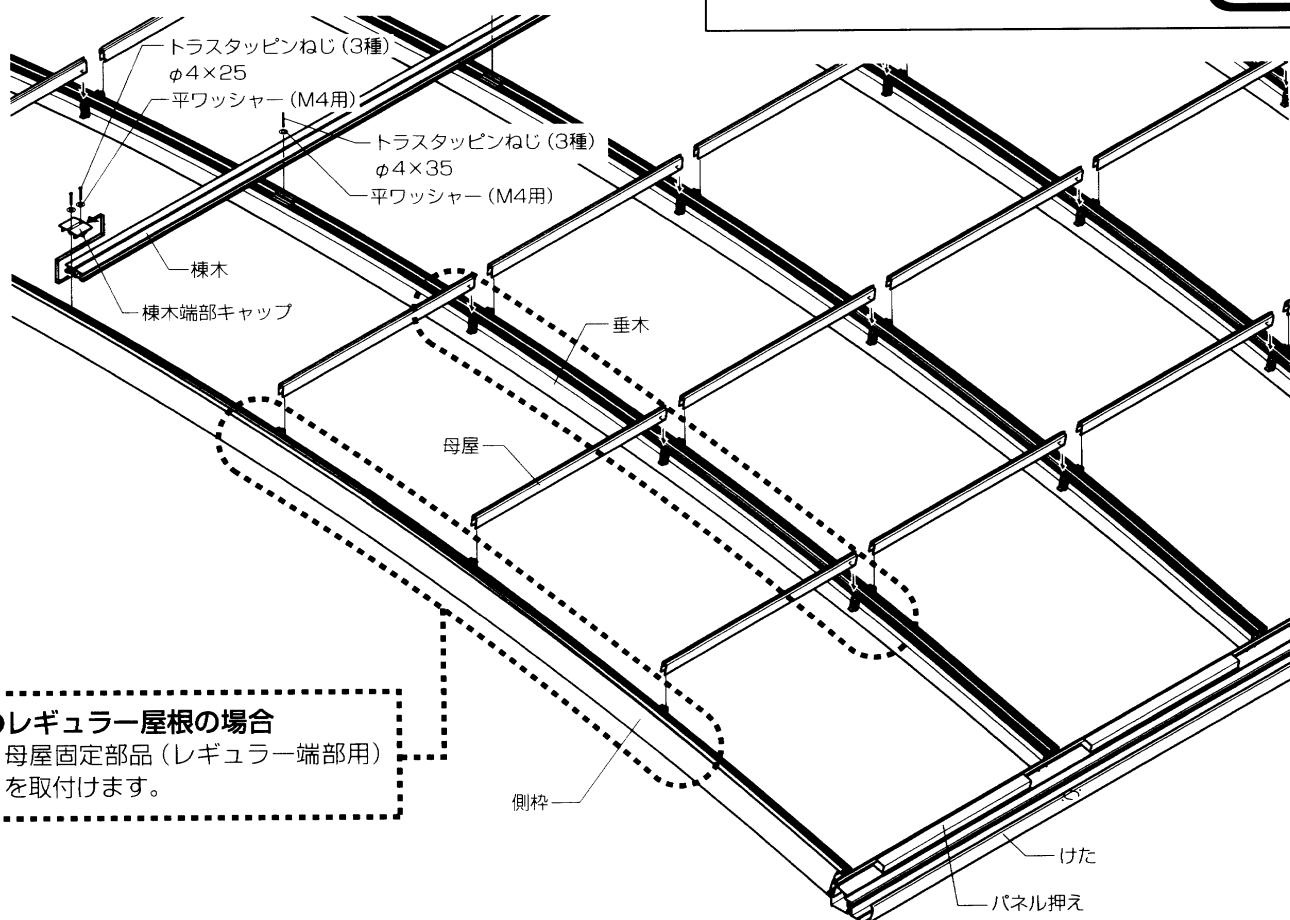
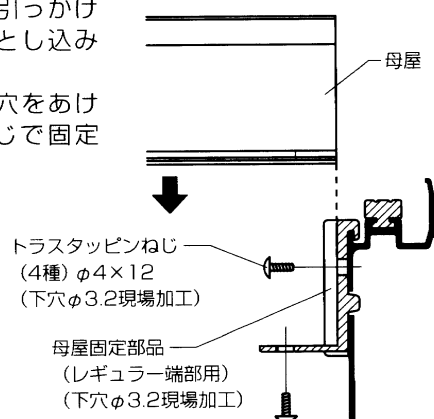
●母屋固定部品取付け方法

・フィンを引っかけて上から落とし込みながら取付けます。



●母屋固定部品（レギュラー端部用）取付け方法

- ①フィンに引っかけて上から落とし込みます。
- ②φ3.2の穴をあけて4種ねじで固定します。



●レギュラー屋根の場合

※母屋固定部品（レギュラー端部用）を取付けます。

7 屋根パネルの取付け

※レギュラー屋根にはグレチャンが取付きません。

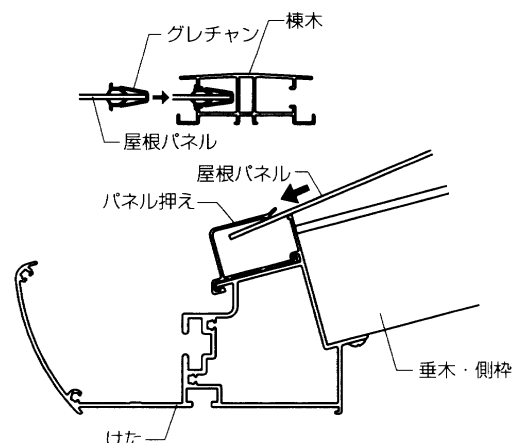
- ①パネル押えをスパンの中央にスライドしてください。
- ②屋根パネルにグレチャンを取付け棟木に差込みます。
- ③けた側をパネル押えに差込みます。

●レギュラー屋根の場合

- ①パネル押えののみ込み寸法が左右均等になるように差込んでください。
- ※垂木・側枠ののみ込み寸法が左右均等になっていることを確認してください。



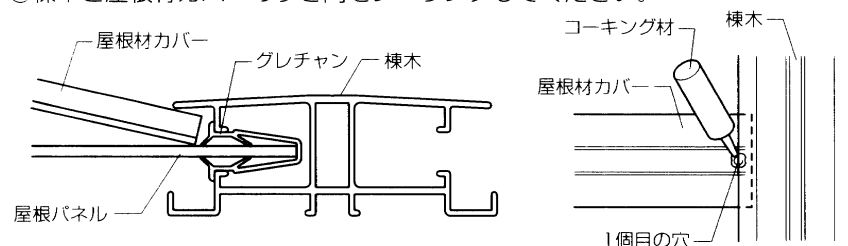
屋根呼称	W	L
24	689	2326
27・54	689	2636
30・60	689	2947



8 屋根材カバーの取付け

※屋根材カバーには左右があります。長さ方向にねじの通りが出るように取付けてください。

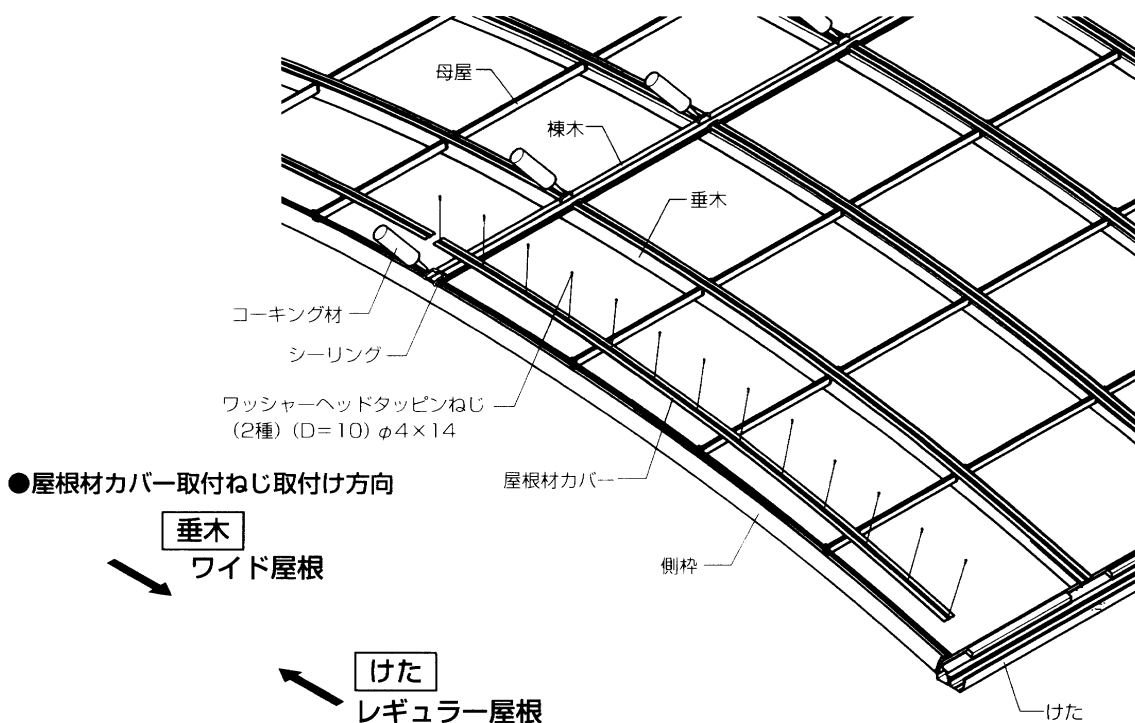
- ①屋根材カバーを棟木に差込みます。
 - ②ワイドタイプの場合、棟木側からねじ止めします。
- ※1個目の穴は棟木に干渉しますので、シーリングしてください。
- ※垂木・側枠とかみ合っている事を確認してください。
- ③棟木と屋根材カバーのすき間をシーリングしてください。



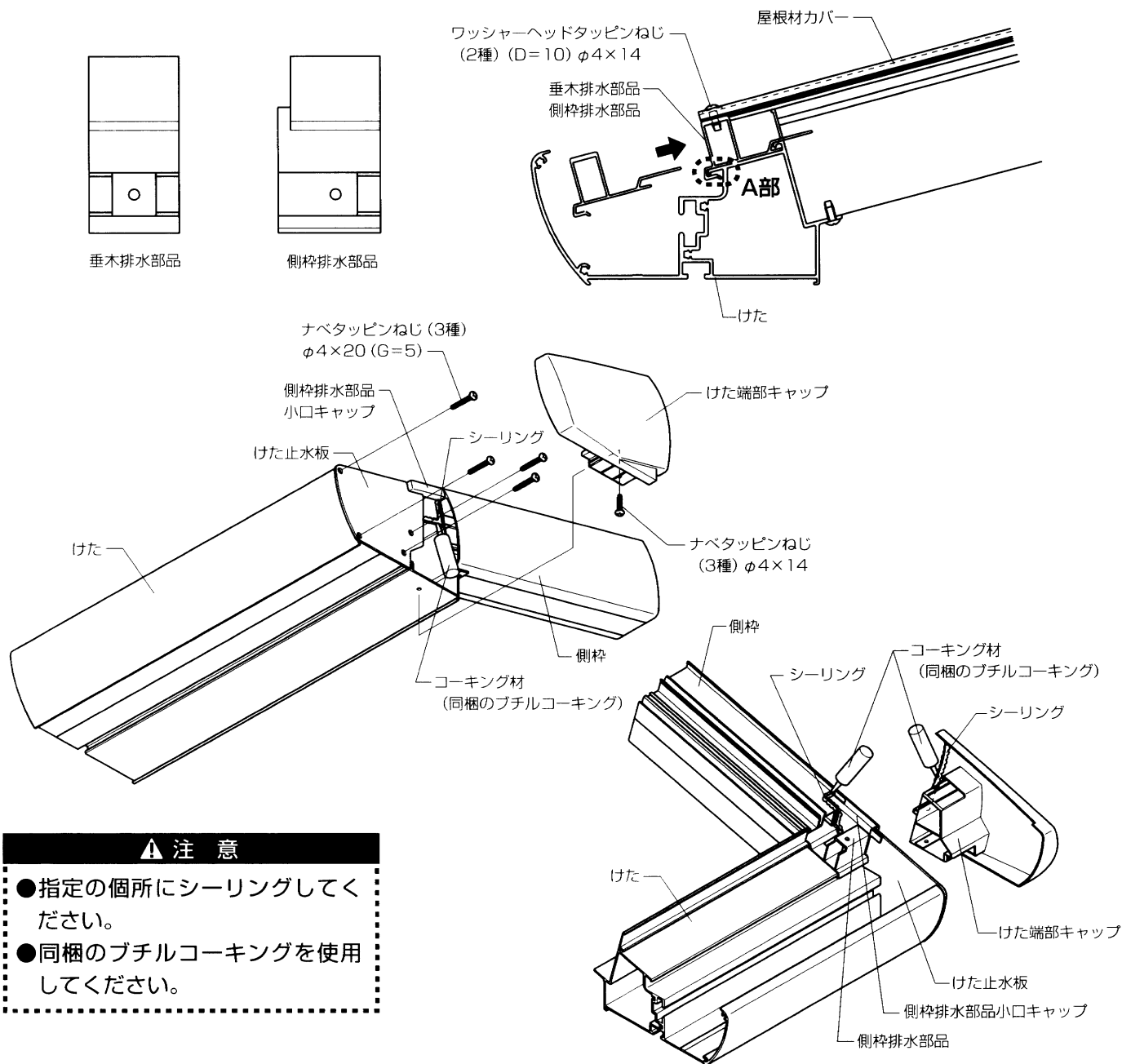
▲ 注意

- シリコンシーリングを行う場合はポリカーボネード板のひび割れなどが考えられますので当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960



- ④垂木に垂木排水部品・側枠に側枠排水部品を差込んで屋根材カバーと一緒にねじ止めしてください。
 ※側枠には排水部品に側枠排水部品小口キャップ (LRあり) を取付けてから挿入してください。
 ※側枠排水部品小口キャップと側枠のすき間にシーリングをしてから屋根材カバーを取付けてください。
 ※けたフィンに排水部品が引っかかっている事を確認してください。(A部)
 ※屋根材カバーと排水部品の穴が合わない場合は屋根材カバーにφ4.5穴をあけ直してください。
 ※側枠排水部品小口キャップと屋根材カバーが干渉する場合は屋根材カバーを切断してください。
 ⑤けた止水板、けた端部キャップを取付けてください。
 ※けた止水板のパッキングが、けた小口に当たってつぶれている事を確認してください。



▲ 注意

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルコーキングを使用してください。

●レギュラー屋根の場合

- ①けたと垂木・側枠のすき間に排水部品を差込んで屋根材カバーと一緒にねじ止めしてください。
 ※側枠には排水部品に側枠排水部品小口キャップ (LRあり) を取付けてから挿入してください。
 ※側枠排水部品小口キャップと側枠のすき間にシーリングをしてから屋根材カバーを取付けてください。
 ※けたフィンに排水部品が引っかかっている事を確認してください。(A部)
 ②反対側のけたに向かってねじ止めして同じく排水部品を差込んでねじ止めしてください。
 ※屋根材カバーと排水部品の穴が合わない場合は屋根材カバーにφ4.5穴をあけ直してください。
 ※側枠排水部品小口キャップと屋根材カバーが干渉する場合は屋根材カバーを切断してください。
 ③けた止水板、けた端部キャップを取付けてください。
 ※けた止水板のパッキングが、けた小口に当たってつぶれている事を確認してください。

9 縦どいセットの取付け

※水こう配を考慮して縦どいの取付け位置を決めてください。

①けた両端の水抜き穴のうち片方に雨どいアタッチメントを取付けます。

②もう一方に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取付けます。

③図に従って取付けてください。

※置き式はり側に縦どいを取付けるとき、置き式はりに縦どいが干渉する場合はエルボ(別売)でよけてください。

●内蔵式の場合

①縦どい式と同じ要領で雨どいアタッチメントを取付けてください。

②柱カパー・柱カパー小口キャップを取外してください。

③任意の位置に排水部品を取付けます。

④柱カパーを排水部品に合わせて切断してください。

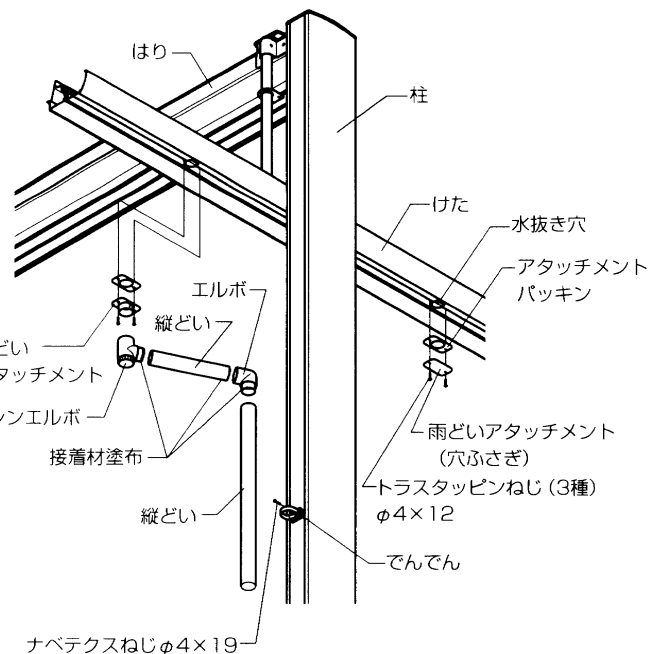
⑤柱に雨受けを取付けてください。

⑥柱カパーに加工を行い柱カパー小口キャップを取付けてください。

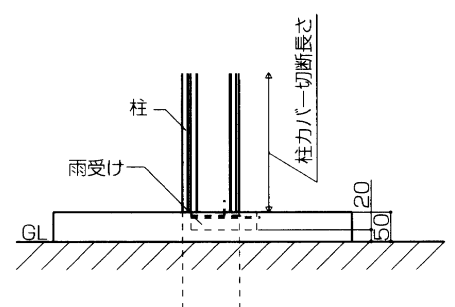
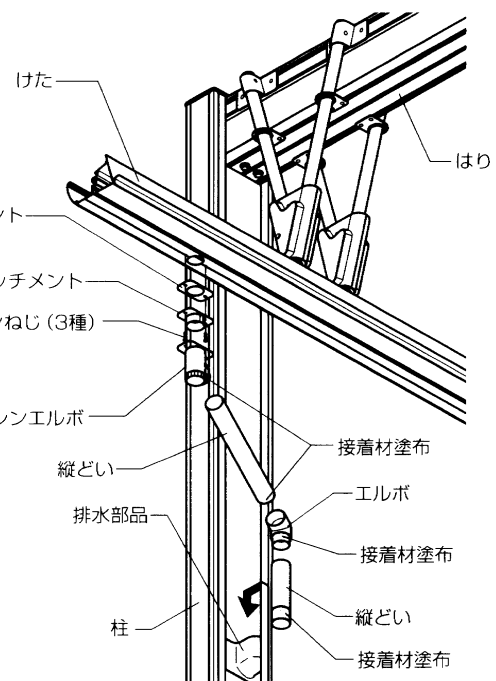
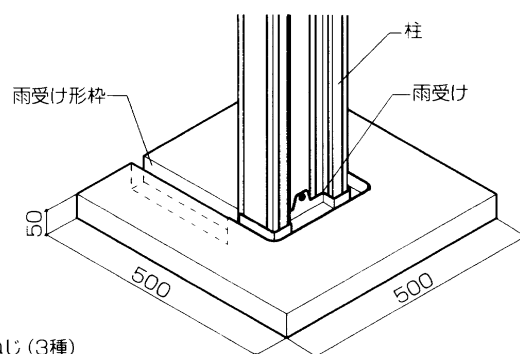
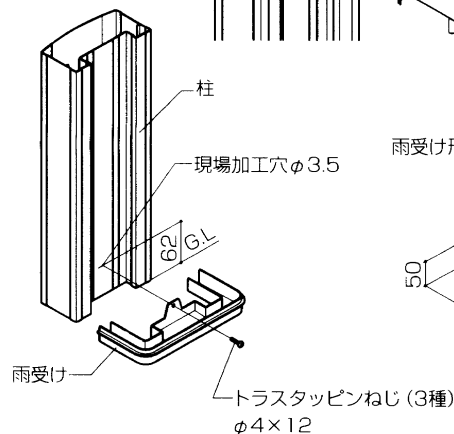
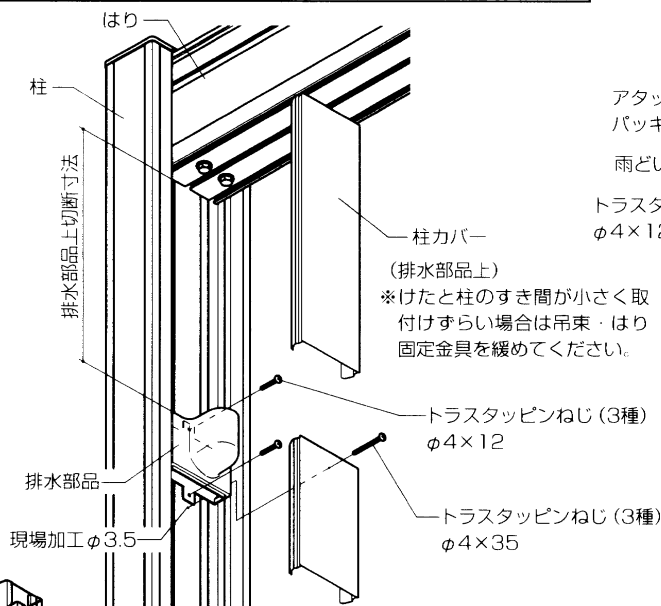
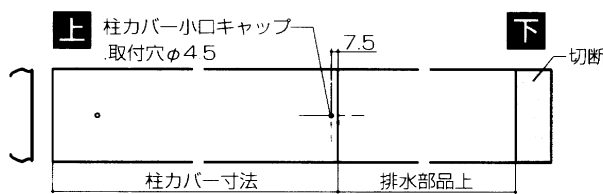
⑦雨受け型枠を現場にて用意して取付けてください。

※基礎が固まった後に型枠を取外してください。

⑧型枠にコンクリートを流し込んでください。

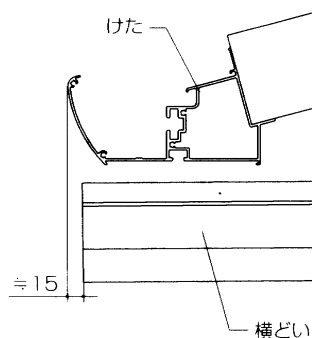
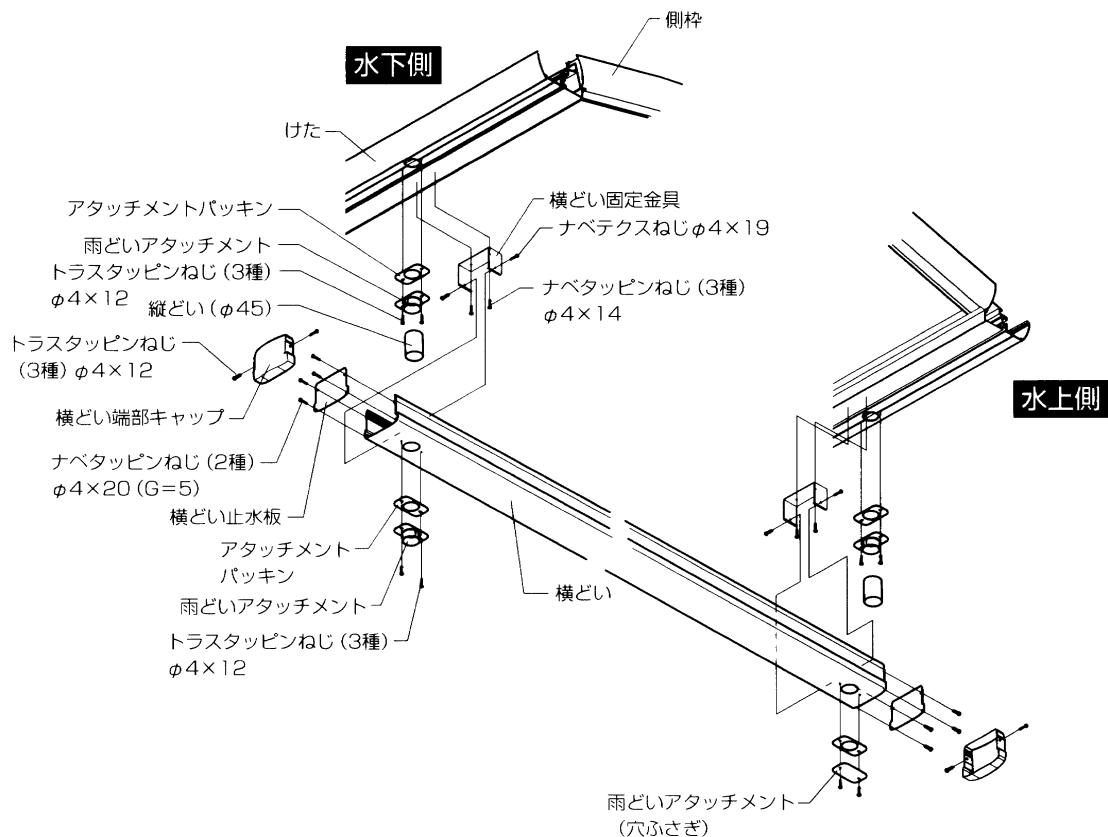


●柱カパー現場加工図

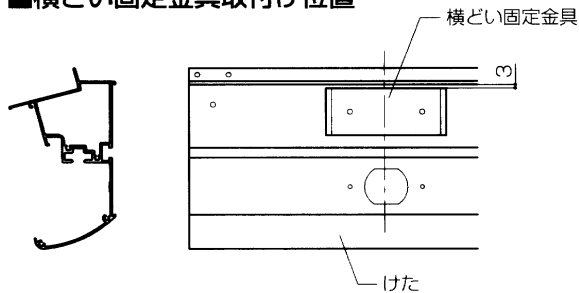


●横どいセットの取付け

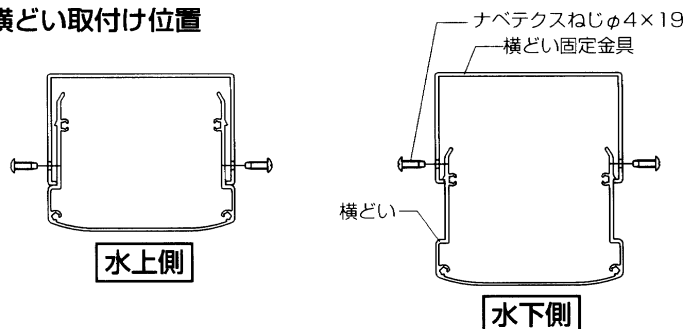
- ①縦どい式と同じ要領で雨どいアタッチメントを取付けてください。
- ②屋根に合わせて横どいを切断して取付けてください。
- ※屋根が30サイズの場合は、ロング用を使用してください。
- ※水こう配がつくように取付けてください。
- ③横どいからの排水は「縦どいセットの取付け (P.17)」を参照して取付けてください。



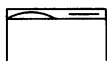
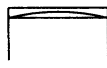
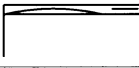
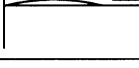
■横どい固定金具取付け位置



■横どい取付け位置



●サイズ別横どい取付け一覧

タイプ	フレームサイズ		42	45	48	54	60	70	80
	屋根サイズ								
レギュラー1台		24	B	B	B	B	B	B	B
		27	B	B	B	B	B	B	B
		30	B	B	B	B	B	B	B
レギュラー合掌2台用		24×2	—	—	C	D	D	D	D
		27×2	—	—	—	C	D	D	D
		30×2	—	—	—	—	E	E	E
レギュラー合掌3台用		24×3	—	—	—	—	—	—	F
レギュラー + パーゴラ マルチスクリーン仕様		24+11P	B	B	B	B	B	B	B
		27+11P	B	B	B	B	B	B	B
		30+11P	B	B	B	B	B	B	B
レギュラー + 15パーゴラ		24+15P	B	B	B	B	B	B	B
		27+15P	B	B	B	B	B	B	B
		30+15P	—	B	B	B	B	B	B
レギュラー + 18パーゴラ		24+18P	B	B	B	B	B	B	B
		27+18P	—	B	B	B	B	B	B
		30+18P	—	—	B	B	B	B	B
レギュラー合掌2台用 + パーゴラ マルチスクリーン仕様		24×2+11P	—	—	—	—	D	D	D
		27×2+11P	—	—	—	—	—	D	D
		30×2+11P	—	—	—	—	—	—	E
レギュラー合掌2台用 + 15パーゴラ		24×2+15P	—	—	—	—	—	D	D
		27×2+15P	—	—	—	—	—	D	D
		30×2+15P	—	—	—	—	—	—	E
レギュラー合掌2台用 + 18パーゴラ		24×2+18P	—	—	—	—	—	D	D
		27×2+18P	—	—	—	—	—	—	D
		30×2+18P	—	—	—	—	—	—	E
ワイド		54	—	—	—	A	D	D	D
		60	—	—	—	—	A	D	D
ワイド+ パーゴラマルチスクリーン仕様		54+11P	—	—	—	—	—	D	D
		60+11P	—	—	—	—	—	—	D
ワイド+ 15パーゴラ		54+15P	—	—	—	—	—	D	D
		60+15P	—	—	—	—	—	—	D
ワイド 18パーゴラ		54+18P	—	—	—	—	—	—	D
		60+18P	—	—	—	—	—	—	D

※柱は、H23とH26の設定があります。

— …… 組合せ不可能

●とい組合せパターン

パターンA	縦どい×2
パターンB	縦どい×1、横どい×1
パターンC	縦どい×2、横どい×1
パターンD	縦どい×1、横どい×1 (ロング) ×1
パターンE	縦どい×2、横どい×1 (ロング) ×1
パターンF	縦どい×2、横どい×2

※縦どいは標準縦どい、内蔵式雨どいより選択してください。

※縦連棟及び延長の場合は、各パターン×2セット手配してください。

合掌の取付け

■合掌の取付け

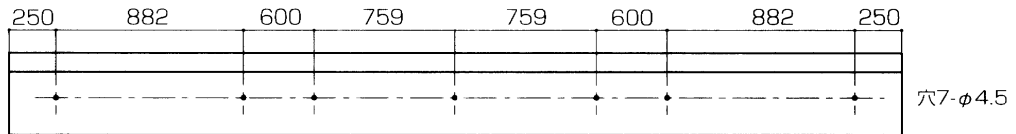
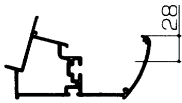
1 基礎の施工

●基礎寸法は標準と変わりません。『基本寸法 (P.4)』及び『基礎寸法 (P.4)』を参照してください。

①下記に従って合掌部のけた (片側) に合掌棟木取付け用の現場加工をしてください。

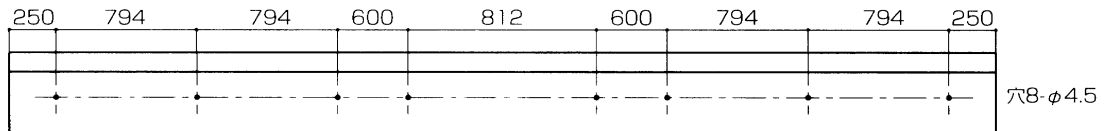
●けた現場加工図

●50タイプ

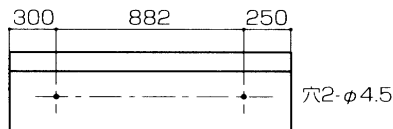


合掌部けた片側のみ

●57タイプ



●14タイプ



連棟側

▲ 注意

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルコーキングを使用してください。

②けたをフレームに吊込んでください。

※けたの吊込みは『けたの取付け (P9～)』を参照してください。

③ねじ止めた側と反対側に合掌棟木用スペーサーを張付けてください。

④合掌棟木取付け部品を取付けてください。

※けたの雨どい部にかぶさっている事を確認してください。

※取付けにくい場合は、吊束・はり固定金具を緩めて調整してください。

⑤合掌棟木のボルトホールに合掌棟木固定スクリューを挿入してください。

・挿入数量

2スパン用: 2個 3スパン用: 3個

⑥合掌棟木端部キャップ及び中間キャップにシーリングをして合掌棟木に取付けます。

⑦合掌棟木水切り部品取付け位置に合掌棟木用スペーサーを取付けてから合掌棟木水切り部品を取付けてください。

⑧合掌棟木をけたの上から取付けてください。

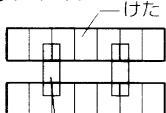
※けた雨どい部にかぶさっている事を確認してください。

※合掌棟木中間キャップが合掌棟木水切り部品にのっかっている事を確認してください。

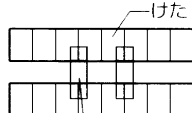
⑨その他の取付けは『取付け順序 (P6～)』に従って取付けてください。

●合掌棟木水切り部品取付け位置

●50タイプ



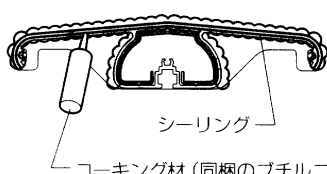
●57タイプ



合掌棟木水切り部品

合掌棟木水切り部品

■合掌棟木キャップシーリング箇所



シーリング

コーキング材 (同梱のブチルコーキング)

トラスタッピンねじ
(2種) G=5
φ4×20

合掌棟木取付け部品

けた

トラスタッピンねじ
(3種) φ4×8

合掌棟木用スペーサー

合掌棟木中間キャップ

合掌棟木
端部キャップ
合掌棟木固定
スクリュー

垂木芯

合掌棟木水切り部品

合掌棟木
用スペーサー

合掌棟木用スペーサー

連棟の取付け

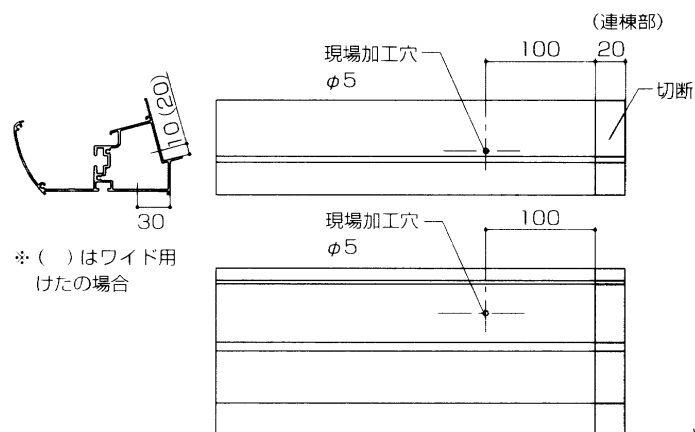
■連棟の取付け

1 基礎の施工

●基礎寸法は標準と変わりません。『基本寸法 (P.4)』及び『基礎寸法 (P.4)』を参照してください。

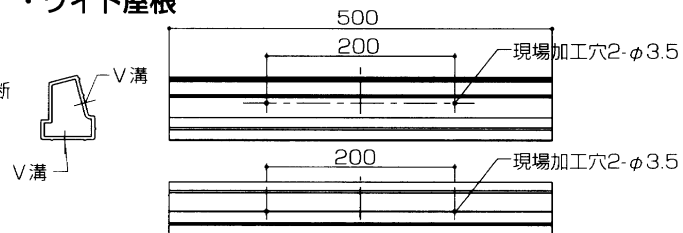
①下記に従ってけた、連結スリーブの現場加工をしてください。

●けた現場加工図

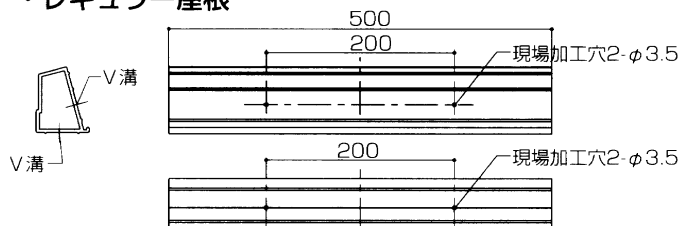


●連結スリーブ現場加工図

・ワイド屋根



・レギュラー屋根



②連結スリーブとけたを固定します。

③けた雨どい部の外側にけた連結カバーを取付けてください。

④けたの雨どい部、けた連結カバー取付けねじ部をシーリングしてください。

●ワイド屋根の場合

①棟木に棟木連結キャップを取付けます。

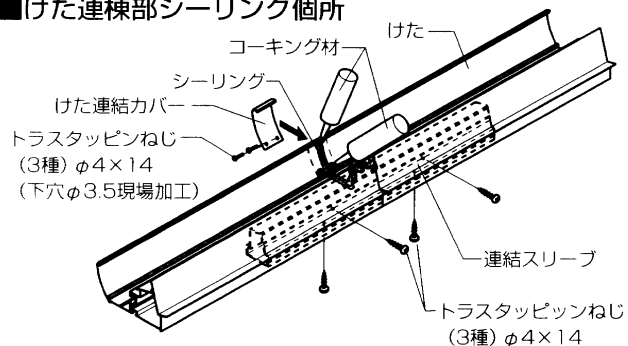
②屋根材カバー取付け後すき間をシーリングしてください。

▲ 注意

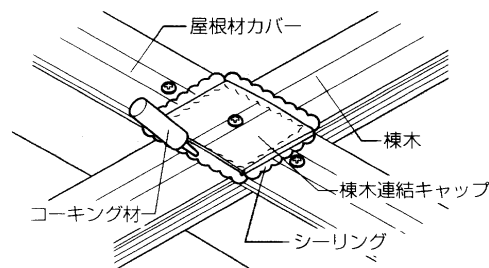
●シリコンシーリングを行う場合はポリカーボネード板のひび割れなどが考えられますので当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

■けた連棟部シーリング箇所



■棟木連結部シーリング箇所



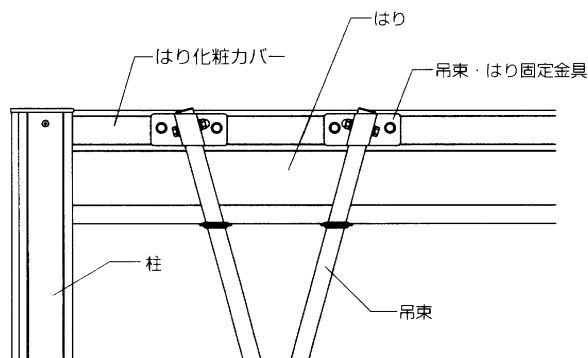
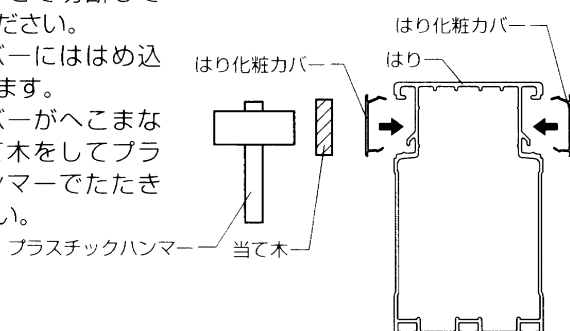
■その他の取付け

1 はり化粧カバーの取付け

①吊束・はり固定金具の取付け位置に合わせて切断してはめ込んでください。

※はり化粧カバーにははめ込む向きがあります。

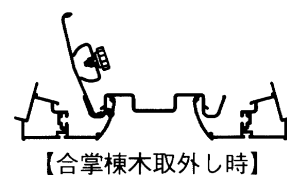
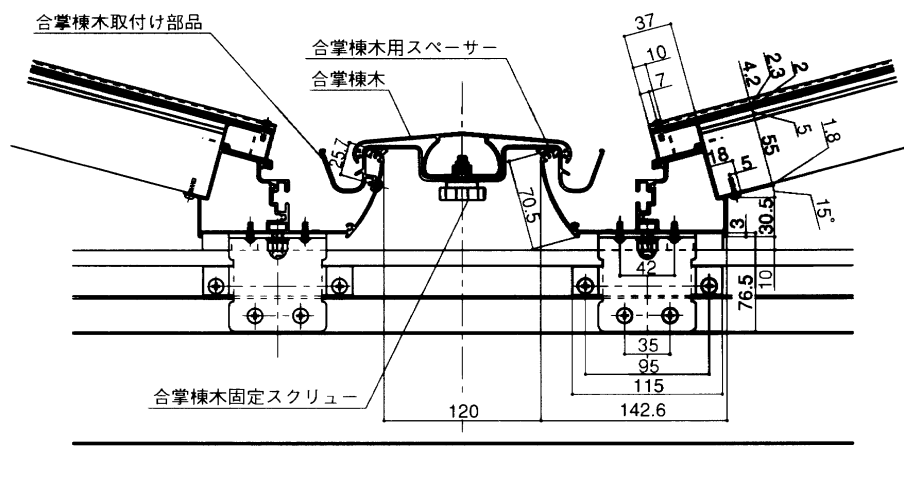
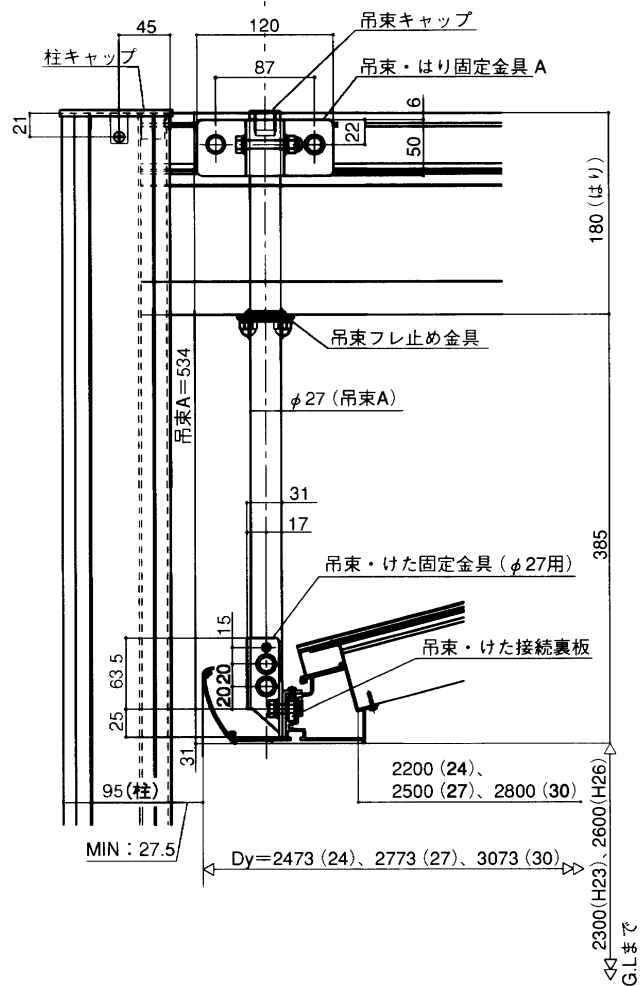
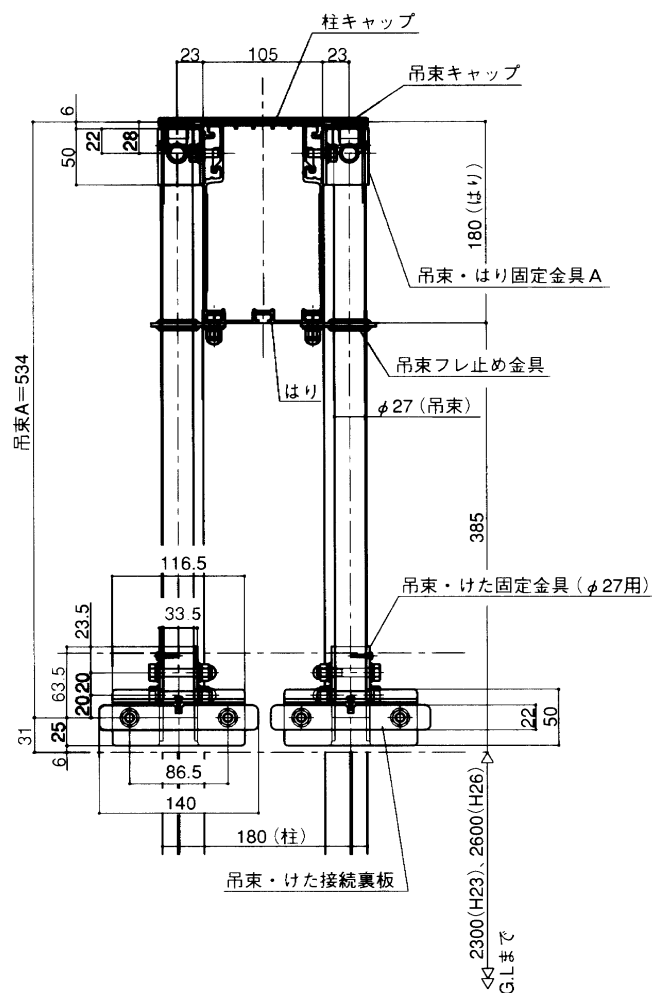
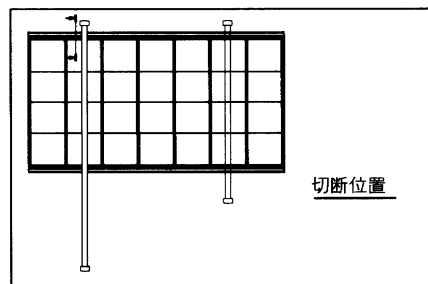
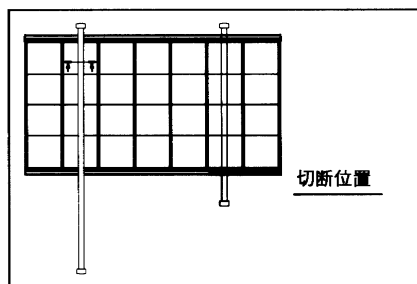
※はり化粧カバーがへこまないように当て木をしてプラスチックハンマーでたたき込んでください。



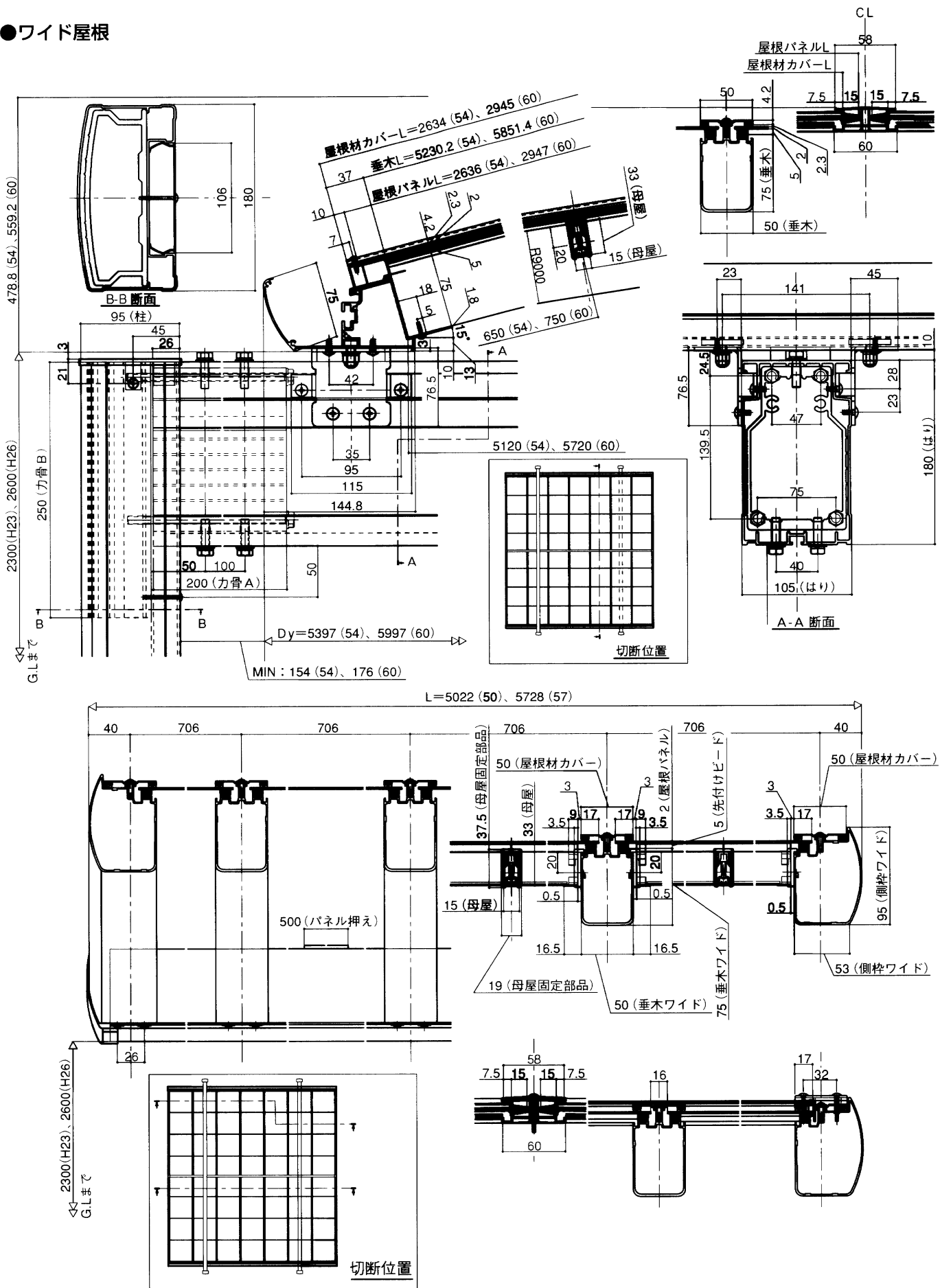
●レギュラー屋根



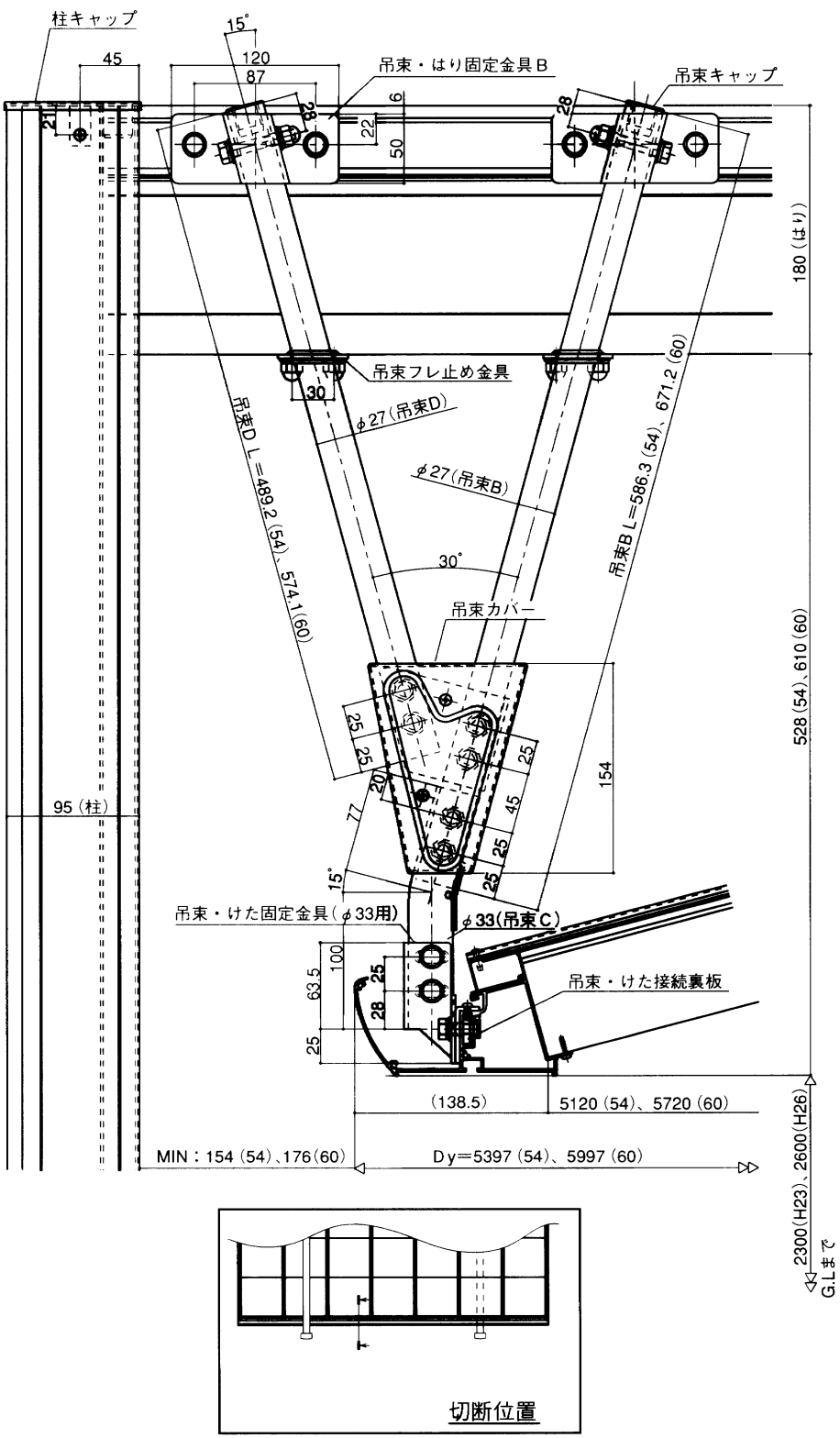
●レギュラー屋根



●ワイド屋根



●ワイド屋根





トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1